

天下統一

四海統一は將にあり 上巻



天下統一を目指す英雄へ

毛利元就の知略がいくら優れていても、上杉謙信の武略がいくら優れても、家臣に人がいなければ、霸をとなえることなどできない。だからこそ武田信玄は、「人は城、人は石垣、人は堀」と言つたのだ。優秀な家臣を集めることこそ、天下統一への道なのである。

それは、ゲーム中とて同じことだ。いや、ゲームのほうが人材獲得の厳しさは、上かもしない。なにせ、48人の武将までしか家臣にできないのだから、凡将なんかはヘタに家臣にできない。凡将だけで48人の枠が埋まってしまい、勇将や知将を配下にできなくなってしまう。困るどころか、家の興亡をも左右しかねないのだ。だからこそ、新しい武将を配下に加えようとするときは、能力をしっかりと見極めなければならない。

そこで、この付録を使ってほしいのだ。この付録には、「天下統一」で登場する全武将の能力が掲載してある。新しい武将に出会ったら、まずこの付録で能力を確認しよう。それから、対応を決定するのだ。これさえあれば、凡将を配下に加えることもないし、軍事値の高い敵将に無理な攻撃をすることもなくなるぞ。

さて、この付録は上下2巻構成になっている。上巻は、ゲームの始めから存在する武将、つまり初期配置されている武将の一覧表だ。軍事や内政といった基本能力はもちろん、兵数や鉄砲の数にいたるまで書いておいたので、ゲームをプレイするときに絶対に役立つはずだ。しかも、290人の武将の経歴を徹底して調べ、その略史をそえておいたので、時間があつたら読んでくれ。こいつはこんなこと

をしたんだ、と武将を理解できて、ゲームにもいっそう感情移入できるぞ！

次号の付録の下巻は、ゲームの進行とともに登場する、追加武将の一覧表だ。上巻とは違い、大名家に跡継ぎとして登場する武将とそれぞの、国に追加として登場する武将を集めてある。大名家とか国とかの違いは、下巻で詳しく説明してあるので、そちらを参照してほしい。上下巻を2冊とも集めて、825人の武将を知るべし。武将の名前で探す人は、次ページ以降の50音順索引でどうぞ。地方ごとに大ざっぱに探す人は、下の日本地図に示してあるページ数を使うか、ページの端の見出しなどを使ってほしい。

全国で天下統一を目指す英雄たちよ、この付録で望みを達せられることを、武蔵国より祈願しているぞ！

①伊達 晴宗

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	⑧
32	9	7	5	10	7	(1519~1577) 奥羽の戦国大名で、伊達政宗の祖父。葦名や佐竹の諸大名と姻戚を結び、伊達氏の勢力拡大に努め、奥州探題の官職をうけた。

亘理 宗元

軍事	内政	伊達 輝完	軍事	内政
9	5		4	9

①武将の名前。ゲーム中に使われているものを、そのまま掲載してある。

②武将の年齢。年をとるほど、死亡する確率が高くなる。寿命の修正あり。

③軍事。この値が大きいほど、合戦で目覚ましい活躍をする。最大は16。

④内政。この値が大きいほど、政略や攻城戦での包囲がうまくいく。最大は16。

⑤武将の忠誠。この値が大きいほど、裏切りを起こしにくくなる。最大は16。

⑥兵数。つまり、兵士の数のこと。最大は50。

⑦鉄砲。これがあると、遠距離からも攻撃できる。兵数の3分の1が理想。

⑧武将の略歴。生没年と、特徴的な行動を書いておきました。

⑨これは下巻の表での軍事の値。軍事の高い武将には多くの兵士を与えろ。

⑩下巻の表での内政の値。これが高い武将を、知将と呼ぶ。

地方別早わかり索引

山陰地方、20~22ページ

九州地方、27~30ページ

北陸地方、15~16ページ

東北地方、6~7ページ

山陽地方、22~25ページ

近畿地方、17~20ページ

東海地方、10~13ページ

関東地方、7~10ページ

甲信地方、13~14ページ

四国地方、25~26ページ

825人の強者たちの総索引

四海統一にかける武者たち

あ行

相木	昌朝	上	14	
青景	隆著	上	25	
青木	景康	上	16	
青池	茂綱	下	17	
青柳	頼長	下	15	
青山	忠門	下	14	
青山	忠成	下	14	
赤井	家清	上	18	
赤池	長任	下	23	
赤井	忠家	下	18	
赤井	照景	上	9	
赤井	直正	下	18	
赤尾	賢種	上	27	
赤尾	清綱	上	17	
赤尾	清冬	下	17	
赤沢	宗伝	下	21	
明石	景季	下	20	
明石	景親	下	20	
明石	景行	下	20	
赤司	資清	下	22	
明石	祐行	上	19	
明石	全登	下	20	
明石	宣行	下	20	
赤穴	久清	上	21	
赤星	統家	下	23	
赤星	親家	上	29	
赤松	則英	下	8	
赤松	則房	下	8	
赤松	晴政	下	23	
赤松	正澄	下	20	
赤松	政直	下	20	
赤松	政範	下	20	
赤松	政秀	上	23	
赤松	義祐	下	8	
秋上	久家	下	19	
安芸	国虎	上	26	
秋月	種実	下	10	
秋月	種冬	下	10	
秋月	晴種	下	10	
秋月	文種	上	28	
秋月	元種	下	10	
秋元	長朝	下	13	
秋元	義久	下	12	
秋山	信友	下	16	
明智	秀満	下	18	
明智	光忠	下	15	
明智	光秀	下	23	
明智	光安	上	12	
浅井	忠種	上	17	
浅井	長政	下	6	
浅井	久政	上	17	
浅井	秀政	下	6	
浅井	頼政	下	6	
朝倉	一玄	下	22	
朝倉	景鏡	下	6	
朝倉	景健	下	6	
朝倉	景綱	下	6	
朝倉	景連	上	16	
朝倉	景紀	上	16	
朝倉	景行	下	6	
朝倉	教數	上	16	
朝倉	義景	上	16	
朝倉	浅野	長政	下	14
朝倉	浅野	幸長	下	14
朝比奈	信置	下	13	

朝比奈	泰朝	下	13
朝比奈	泰能	上	11
足利	晴氏	上	8
足利	義氏	下	3
足利	義維	上	25
足利	義輝	上	18
足利	頼純	上	8
蘆田	國住	上	18
蘆田	信守	上	14
葦名	盛氏	上	6
葦名	盛興	下	3
盛	盛隆	下	3
阿蘇	義広	下	3
阿蘇	惟前	上	29
阿蘇	惟將	上	29
阿蘇	惟賢	下	23
安宅	秀興	上	25
安宅	冬康	下	7
穴山	信君	下	16
穴山	信友	上	13
阿閉	貞大	下	17
阿閉	貞徳	下	17
尼子	勝久	下	7
尼子	國久	上	21
尼子	倫久	下	7
尼子	晴久	上	21
尼子	秀久	下	7
尼子	誠久	上	21
尼子	義久	下	7
天野	景貫	下	13
雨森	弥兵衛	上	17
荒木	村重	下	18
荒木	元清	下	18
有馬	晴信	下	23
有馬	義貞	上	29
有馬	義純	下	23
安藤	守就	上	12
飯尾	賢連	上	11
井伊	連竜	下	4
井伊	直親	下	13
井伊	直政	下	13
池田	勝正	下	18
池田	恒興	下	14
池田	長正	上	19
石川	家成	下	14
石川	数正	下	14
石川	彈正忠	下	11
石川	昭光	下	3
石川	久孝	上	23
石川	久智	下	20
石黒	左近	下	16
石田	三成	下	17
伊地治	重興	下	23
伊地治	重秀	下	23
伊集院	忠朗	上	30
伊集院	忠倉	上	30
伊勢	定孝	上	18
磯野	員昌	下	17
板垣	信憲	下	16
伊丹	親興	上	19
一条	兼定	上	26
一宮	宗是	下	13
一万田	鑑実	下	22
一色	義清	下	7

一色	義定	下	7
一色	義道	下	7
一色	義幸	上	20
逸見	昌経	上	20
伊東	祐兵	下	10
伊東	祐俊	上	29
伊東	義賢	下	10
伊東	義勝	下	10
伊東	義祐	上	29
伊東	義益	下	10
稻葉	貞通	下	15
稻葉	良通	上	12
猪苗代	盛國	下	11
猪苗代	盛胤	下	11
庵原	将監	下	13
今川	氏明	下	4
今川	氏真	上	11
今川	氏豊	下	4
今川	高久	下	4
今川	長徳	下	4
今川	長範	上	10
今川	義元	上	10
色部	顯長	下	16
色部	勝長	上	15
祝	甲斐守	上	24
岩成	友通	上	18
犬童	賴安	下	23
印牧	能信	下	17
印牧	美滿	上	16
上杉	景勝	下	6
上杉	景虎	上	15
上杉	景信	上	15
上田	謙信	上	10
上村	朝直	上	29
魚住	賴孝	上	22
宇喜多	吉長	下	17
宇喜多	忠家	下	8
宇喜多	直家	上	23
宇喜多	詮家	下	8
宇喜多	春家	下	8
宇喜多	秀家	下	8
宇喜多	基家	下	8
宇佐美	定満	上	15
氏家	隆繼	上	7
氏家	直元	上	12
氏家	光氏	下	11
氏家	守棟	下	11
氏家	行広	下	15
氏家	吉繼	下	11
白杵	鑑続	下	22
白杵	鑑速	下	22
宇都宮	國綱	下	4
宇都宮	鎮房	下	9
宇都宮	朝房	下	9
宇都宮	豊綱	上	26
宇都宮	長房	上	27
宇都宮	廣綱	上	9
鶴殿	長照	上	11
字山	久兼	上	21
浦上	清宗	下	7
浦上	國秀	上	22
浦上	政宗	上	22
浦上	宗景	上	22
宇礼志野	直通	下	23
宇礼志野	通治	下	23
穎娃	久虎	下	23
江上	武種	上	29
江副	信英	下	23
江田	豊前守	上	24
枝吉	種淨	下	23
江戸	重通	下	12
江戸	忠通	上	7
江原	親次	下	20
江間	重氏	下	12
江村	親家	下	21
江良	房榮	上	25
円城寺	信胤	下	23
遠藤	基信	下	11
塩治	周防守	下	19
扇谷上杉	氏憲	下	4
扇谷上杉	憲賢	上	9
扇谷上杉	憲盛	下	4
大石	定久	上	10
大内	定綱	下	11
大内	輝弘	上	27
大内	義尊	下	9
大内	義隆	上	25
大久保	忠佐	下	14
大久保	忠世	下	14
大久保	長安	下	16
大熊	長秀	下	16
大崎	義隆	下	11
大崎	義直	上	6
大岡	高増	下	12
太田	家豊	下	23
太田	氏資	下	12
太田	定久	下	18
太田	資正	上	9
太田	輝資	下	12
太田	吉継	下	18
太田	宗正	下	18
太田	康資	上	10
大田原	繩清	上	9
大田原	晴清	下	12
天塚	親成	下	12
大友	宗麟	上	27
大友	親家	下	10
大友	親盛	下	10
大友	義統	下	10
大友	義長	下	10
大原	資良	下	13
大村	純忠	上	28
小笠原	氏清	上	11
小笠原	貞種	下	5
小笠原	貞慶	下	5
小笠原	長雄	上	22
小笠原	長隆	下	5
小笠原	長忠	下	13
小笠原	長繼	下	5
小笠原	長時	上	14
小笠原	信貞	下	5
小笠原	信貴	上	14
小笠原	信嶺	下	15
小笠原	頼貞	下	5
岡	利勝	下	20
岡部	正綱	下	13

か行

岡部 元信 下 · 13
 奥平 貞能 下 · 14
 奥山 常陸介 下 · 15
 淡河 定範 下 · 20
 長船 貞親 下 · 20
 小田 氏治 上 · 7
 小田 友治 下 · 12
 織田 長利 下 · 5
 織田 長益 下 · 5
 織田 信興 下 · 5
 織田 信雄 下 · 5
 織田 信包 下 · 5
 織田 信清 上 · 12
 津田 信澄 下 · 5
 織田 信孝 下 · 5
 織田 信忠 下 · 5
 織田 信友 上 · 12
 織田 信長 上 · 12
 織田 信治 下 · 5
 織田 信広 下 · 5
 織田 信光 上 · 12
 織田 信安 上 · 12
 織田 信行 下 · 5
 織田 秀信 下 · 5
 越知 家高 下 · 18
 越知 家増 上 · 19
 鬼庭 綱元 下 · 11
 鬼庭 良直 上 · 6
 小野寺 景道 上 · 7
 小幡 信貢 下 · 12
 小幡 憲重 上 · 9
 小原 隆言 下 · 21
 飯富 虎昌 上 · 13
 小山田 信有 上 · 13
 小山田 信茂 下 · 16
 小山田 賴定 下 · 11
 甲斐 宗運 上 · 29
 海北 綱親 上 · 17
 香川 元景 上 · 26
 柿崎 景家 上 · 15
 垣屋 光成 上 · 20
 葛西 晴信 上 · 6
 笠原 康勝 下 · 13
 片桐 且元 下 · 17
 片倉 景綱 下 · 11
 片平 親綱 下 · 11
 桂 元純 上 · 24
 葛山 氏元 上 · 11
 加藤 清正 下 · 14
 加藤 光泰 下 · 15
 加藤 嘉明 下 · 14
 金井 秀景 下 · 12
 金上 遠江守 下 · 11
 金森 長近 下 · 14
 金光 宗高 上 · 23
 蒲池 錦盛 上 · 28
 上山 満兼 上 · 7
 亀井 滋矩 下 · 19
 蒲生 氏郷 下 · 17
 蒲生 定秀 上 · 17
 蒲生 賢秀 下 · 17
 河合田 吉統 下 · 17
 河原 長親 下 · 16
 氏徳 下 · 13
 具盛 下 · 15
 菊池 義武 上 · 29
 木曾 義昌 上 · 15
 木曾 義康 上 · 14
 北郷 時久 下 · 23
 北畠 具親 下 · 5

さ行

北畠 具教 上 · 13
 北畠 具房 下 · 5
 北畠 具藤 下 · 5
 北畠 啓具 上 · 13
 吉川 経家 下 · 20
 吉川 広家 下 · 8
 吉川 元長 下 · 8
 吉川 元春 上 · 24
 木付 鎮秀 下 · 22
 喜連川 国朝 下 · 12
 喜連川 賴氏 下 · 12
 木下 秀長 下 · 14
 木下 秀吉 下 · 14
 肝付 兼亮 下 · 10
 肝付 兼統 上 · 30
 肝付 兼寛 下 · 23
 肝付 兼盛 上 · 30
 肝付 兼護 下 · 10
 肝付 良兼 下 · 10
 京極 高吉 上 · 18
 吉良 親貞 下 · 9
 吉良 統栄 下 · 22
 吉良 義昭 下 · 14
 吉良 義安 下 · 14
 九鬼 浄隆 上 · 13
 九鬼 澄隆 下 · 15
 九鬼 守隆 下 · 15
 九鬼 嘉隆 下 · 15
 朽木 元綱 下 · 17
 国司 元武 下 · 20
 久野 宗能 下 · 13
 隅部 親永 上 · 29
 久米 義広 上 · 25
 倉賀野 直行 下 · 12
 倉町 信俊 下 · 23
 黒田 長政 下 · 20
 黒田 職高 上 · 22
 黒田 孝高 下 · 20
 桑名 親勝 下 · 21
 桑名 元成 上 · 18
 香宗 我部 親泰 下 · 9
 上月 陸奥守 上 · 22
 河野 通直 下 · 9
 河野 通宣 下 · 9
 河野 通政 下 · 9
 河野 通存 上 · 26
 桑折 宗長 下 · 11
 木造 具政 上 · 13
 小寺 行長 下 · 18
 小早川 隆景 上 · 24
 小早川 秀包 下 · 8
 小山 高朝 土 · 9
 小山 豊綱 下 · 12
 後藤 豊基 上 · 23
 斎藤 龍興 下 · 5
 斎藤 道三 上 · 12
 斎藤 利三 下 · 15
 斎藤 朝信 下 · 16
 斎藤 長龍 上 · 5
 斎藤 義龍 上 · 12
 佐伯 惟教 上 · 27
 酒井 忠次 下 · 14
 酒井 正親 上 · 11
 坂井 政尚 下 · 15
 柳原 康政 下 · 14
 相良 長毎 下 · 10
 相良 晴広 上 · 29

相良 義陽 下 · 10
 佐久間 信盛 下 · 14
 佐久間 盛重 下 · 14
 佐久間 盛政 下 · 14
 鮎延 秀綱 下 · 11
 佐々木 大学助 上 · 8
 佐々木 成政 下 · 14
 佐瀬 大和守 下 · 11
 佐竹 義昭 上 · 7
 佐竹 義堅 下 · 3
 佐竹 義廉 下 · 3
 佐竹 義斯 下 · 3
 佐竹 義里 上 · 7
 佐竹 義重 下 · 3
 佐竹 義喬 下 · 3
 佐竹 義宣 下 · 3
 佐竹 義憲 下 · 3
 佐竹 義久 下 · 3
 佐竹 義尚 下 · 3
 佐竹 勝政 下 · 4
 佐竹 勝堯 下 · 4
 佐竹 義堯 上 · 8
 佐竹 義弘 上 · 8
 佐竹 義康 下 · 4
 佐竹 義頼 下 · 16
 佐田 信綱 下 · 16
 佐田 信幸 下 · 16
 佐田 昌幸 下 · 16
 佐田 幸隆 下 · 16
 佐野 昌綱 上 · 9
 佐野 猿渡 下 · 23
 佐波 信光 下 · 19
 佐波 隆秀 下 · 21
 沢渡 盛方 下 · 15
 沢渡 椎名 下 · 16
 垣谷 康胤 上 · 15
 垣谷 義孝 上 · 9
 垣谷 鑑隆 下 · 22
 垣谷 親次 下 · 22
 垣谷 親度 下 · 22
 垣谷 志賀 上 · 27
 垣谷 志賀 親守 上 · 27
 垣谷 元氏 下 · 8
 垣谷 隆家 下 · 20
 岩戸 勝家 下 · 14
 柴田 新発田 上 · 15
 島 左近 下 · 18
 島 島家久 下 · 10
 島 島家久 下 · 10
 島 実久 上 · 30
 島 島貴久 上 · 30
 島 島忠將 上 · 30
 島 島歳久 下 · 10
 島 島尚久 下 · 10
 島 島義虎 下 · 10
 島 島義久 下 · 10
 島 島義弘 下 · 10
 島 島宗治 下 · 20
 島 清水 下 · 13
 島 清水 康英 下 · 13
 島 義親 下 · 3
 島 高資 上 · 23
 島 少式 上 · 28
 島 白石 下 · 11
 島 白石 時尚 下 · 11
 島 神利 下 · 11
 島 賢盛 上 · 6
 島 氏純 下 · 6
 島 氏張 下 · 6
 島 周防守 下 · 17
 島 長城 下 · 6
 島 長国 下 · 6

た行

神保 長住 下 · 6
 神保 長職 上 · 15
 陶 長房 下 · 9
 陶 晴賢 上 · 24
 陶 持長 上 · 25
 菅沼 定盈 下 · 14
 菅沼 興運 上 · 11
 杉 重矩 上 · 25
 杉 隆泰 下 · 21
 杉 原理興 上 · 24
 杉 盛重 下 · 20
 佐大 佐大夫 上 · 20
 鈴木 重朝 下 · 18
 鈴木 重秀 下 · 18
 鈴木 須誠 下 · 15
 鈴木 謙親 下 · 15
 鈴木 賴豊 上 · 14
 鈴木 氏広 上 · 11
 関盛 盛忠 上 · 15
 関瀬 盛信 下 · 13
 仙馬 氏俊 上 · 11
 馬相 秀久 下 · 17
 盛胤 盛胤 上 · 6
 景滋 景滋 上 · 26
 一存 存保 下 · 7
 直次 直次 下 · 13
 政繁 政繁 下 · 13
 盛昌 盛昌 上 · 10
 大道寺 大道寺 上 · 10
 大坂 大道寺 下 · 16
 高梨 昌信 上 · 14
 政種 政種 下 · 28
 錦雲 橋錦 上 · 22
 次利 重友 下 · 18
 一益 一益 下 · 14
 鑑生 勝頼 上 · 5
 国信 盛 下 · 5
 信玄 信玄 上 · 13
 信勝 信勝 下 · 5
 信繁 信繁 上 · 13
 信政 信政 上 · 8
 信廉 信廉 下 · 5
 盛信 盛信 上 · 5
 義統 義統 上 · 16
 義信 義信 下 · 5
 重矩 重矩 下 · 15
 久綱 重治 下 · 18
 竹中 竹中 下 · 19
 中原 中原 下 · 19
 立原 立原 上 · 28
 立花 立花 下 · 22
 竹中 竹中 下 · 11
 橋岡 橋岡 上 · 3
 伊達 伊達 上 · 6
 伊達 伊達 上 · 3
 伊達 伊達 上 · 3
 伊達 伊達 上 · 3
 谷 伊達 上 · 3
 原田 原田 上 · 21
 田村 田村 上 · 27
 千葉 千葉 下 · 12
 千葉 千葉 上 · 8
 邦胤 邦胤 上 · 8
 菊宗 菊宗 上 · 26

延	満	下	下	下	下	下
沢	宗	勝	下	上	下	上
乃	氏	勝	統	上	下	下
芳	高	定	統	下	下	上
芳	高	繼	统	下	下	下
畠	康	忠	昭	上	下	上
畠	高	高	高	上	上	下
畠	義	政	義	下	上	上
畠	義	國	義	下	上	下
畠	義	隆	継	下	下	上
畠	義	統	継	下	上	下
畠	義	綱	義	下	上	下
畠	昌	慶	綱	下	下	上
畠	波	多	慶	義	下	上
畠	波	野	晴	通	上	下
畠	波	野	治	通	下	上
峰	峰	元	秀	治	下	上
須賀	須賀	正	勝	正	上	下
花房	花房	幸	勝	幸	下	上
花房	花房	職	之	職	下	上
林	通	勝	勝	通	上	下
羽床	資	勝	勝	資	下	上
原田	貞	佐	佐	貞	下	上
原田	隆	種	種	隆	上	下
原田	信	種	種	信	下	上
原田	秀	兼	兼	秀	上	下
馬場	信	春	春	信	下	上
馬	職	家	家	職	上	下
久	親	直	直	親	下	上
久	隆	秋	秋	隆	上	下
菱	賢	兼	兼	賢	下	上
武	駿	河	河	駿	上	下
武	河	守	守	河	下	上
田	汎	秀	秀	汎	下	上
手	政	秀	秀	政	上	下
中	隆	兼	兼	隆	下	上
水島	正	方	方	正	上	下
留	則	方	方	則	下	上
原	光	信	信	光	下	上
原	親	政	政	親	上	下
屋	貞	俊	俊	貞	下	上
田	元	俊	俊	元	上	下
木	隆	兼	邦	隆	下	上
船	重	吉	吉	重	上	下
越	景	直	直	景	下	上
不	光	治	治	光	下	上
破	重	宗	宗	重	上	下
所	長	勝	勝	長	下	上
所	長	治	治	長	下	上
別	村	治	治	村	下	上
所	邦	邦	邦	邦	下	上
北	氏	繁	繁	氏	下	上
条	氏	照	照	氏	上	下
北	氏	直	直	氏	下	上
北	氏	規	規	氏	上	下
北	氏	政	政	氏	下	上
北	高	康	康	高	上	下
北	綱	成	俊	綱	下	上
北	成	俊	俊	成	上	下
北	昭	元	元	昭	下	上
北	氏	興	興	氏	上	下
北	忠	元	元	忠	下	上
北	晴	元	元	晴	上	下
北	孝	隆	隆	孝	下	上
北	持	隆	隆	持	上	下
北	元	勝	勝	元	下	上
北	常	定	定	常	上	下

尾	吉晴	下	14
堀	吉政	下	15
本	繁長	下	16
城	常光	下	21
本	秀綱	下	16
多	忠勝	下	14
前	利家	下	14
前	長利	下	14
前	利政	下	14
前	利益	下	17
田	景當	下	17
田	吉繼	下	17
波	氏幹	下	12
壁	義幹	下	12
真	時茂	上	8
正	時忠	下	8
正	時通	下	12
正	憲時	下	12
正	賴忠	下	12
正	持光	下	21
麻	藤兼	下	19
益	忠次	上	11
植	宗信	上	28
田	隆信	上	11
井	親乘	上	11
井	信康	下	4
浦	秀康	下	4
平	憲秀	下	13
田	左門	上	19
永	久秀	上	19
永	久通	下	7
本	景繁	下	16
本	圖書助	下	11
浦	貞勝	下	19
浦	義就	上	13
雲	定持	上	17
沢	為清	上	21
宿	政友	下	3
谷	正村	上	7
野	忠重	下	14
野	元信	上	11
淵	春員	上	18
淵	藤英	下	18
刀	久祐	上	21
屋	家親	下	8
三	親成	下	8
三	宗親	下	23
村	元親	下	8
村	房長	上	25
村	長慶	上	19
川	長治	下	7
好	逸長	下	19
好	政勝	下	18
好	政康	下	7
好	長政	上	19
好	義興	上	7
好	義賢	上	19
好	義繼	上	7
好	羽守	上	28
好	出氏	下	22
好	貞氏	下	5
好	國清	下	20
好	武吉	下	14
像	義清	上	24
像	隆元	上	8
上	輝元	下	8
上	秀元	下	8
上	元清	下	24
上	就元	下	8
上	康元	下	3
上	家親	下	3
毛	義光	下	3

最上	義守	上	7
最上	義康	下	3
本山	茂辰	上	26
森	長可	下	14
森	可成	下	14
問註所	鑑豐	下	22
問註所	統景	下	22
屋代	政國	上	14
山内	隆通	上	24
山岡	景隆	上	17
山県	昌景	下	16
山口	教繼	上	12
山田	有信	下	23
山中	大和守	上	17
山中	幸盛	下	19
山名	祐豊	上	20
山名	堯熙	下	7
山名	堯政	下	7
山名	豊數	下	7
山名	豊國	下	7
山名	豊定	上	21
山名	豊成	下	7
山名	豊直	下	19
山名	弘弘	上	20
山内	上杉 憲景	下	4
山内	上杉 憲重	下	4
山内	上杉 憲政	上	9
山内	一豊	下	14
山本	勘介	下	16
吉	豊守	下	16
比	正純	下	13
城	晴綱	上	6
城	晴朝	下	12
城	政勝	上	8
遊	義親	下	11
佐	統光	下	16
由	長教	上	20
良	国繁	下	12
良	成繁	上	9
吉	景資	下	16
江	資堅	下	16
吉	宗信	上	15
江	興種	下	21
吉	鑑理	上	27
弘	正頼	上	22
見	信蕃	下	16
依	綱寛	下	19
米原	光氏	上	14
栗岩寺	家就	下	10
竜造寺	隆信	上	10
竜造寺	長信	下	10
竜造寺	信周	下	10
竜造寺	政家	下	10
冷泉	隆豊	上	25
六角	定頼	上	17
六角	義賢	上	17
六角	義定	下	6
六角	義治	下	6
六角	宗元	下	3
亘理	惟政	下	23
田和仁	親実	下	23

ら行

わ行

総計290人の武将列伝

58カ国をそれぞれ、10の地方に分けてある。気象などのイベントは、地方ごとに起きるので、自分のプレイした

い国が何地方に属するのかを、キチンと把握しておこう。国ごとの石高や町の価値といった基本データとコメント

を入れておいたので、ゲーム中の参考にしてくれ。武将名で、各國の一番上に書いている人物が当主だ。

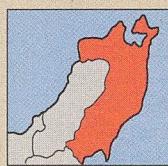
東北地方

東北地方は石高も町の価値も低く、ひと口でいえば天下統一を狙うのに不向きな土地柄である。凶作が起きる確率も高いし、冬は必ず大雪が発生するの

だ。春と冬は大雪で行動ができないと、初めから覚悟するべきだろう。背後に敵がないので前へ侵攻すればいい、ということだけが、有利な点だ。



北陸奥国



ゲームスタート時の石高	5万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	35万石
この国の町の最大価値	10

同盟国は持っていないが、隣接する葦名家も最上家もすぐには国内統一をできないから、攻め込まれる心配はない。じっくりと北陸奥国を、平定するとしよう。問題は南陸奥国や出羽国に侵攻してからで、上杉家と隣接した場合にどうするかだ。決戦するか、同盟して弱小な下野国に攻め込むか？

伊達 晴宗	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
伊達 実元	32	5	7	0	10	0
鬼庭 良直	24	8	4	0	10	0
中野 宗時	38	8	3	12	10	0
氏家 隆継	46	1	9	0	15	0
大崎 義直	37	6	1	0	10	0
葛西 晴信	34	4	4	0	15	0
	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲

(1519～1577) 奥羽の戦国大名で、伊達政宗の祖父。葦名や佐竹の諸大名と姻戚を結び、伊達氏の勢力拡大に努め、奥州探題の官職をうけた。
 (1527～1587) 晴宗の弟。伊達一族の柱石として、晴宗、輝宗、正宗の3代を補佐し続けた。息子である伊達成実は、豪勇の武将として知られている。
 (1513～1585) 輝宗と正宗の2代にわたって仕え、1585年の人取橋の戦いでは総軍の指揮を命じられる。そのとき敗軍の殿を務め、激戦のなかで戦死。73歳であった。
 (生没年不明) 伊達家の家老として、家臣の中で最大の勢力を誇ったが、1570年に反乱を起こす。敗北して会津に逃亡した後のこととは、まったく知られていない。
 (生没年不明) 氏家氏は、もともと大崎氏の家臣である。氏家吉継の時代に伊達政宗が大崎氏を滅ぼしたため、氏家氏も伊達家の家臣となった。
 (?～1577) 奥羽大崎氏12代目。重臣の反乱を鎮圧できず、伊達家に援助を受けたことから、伊達家に服従をせざるをえなくなった。
 (生没年不明) 1569年頃に上洛し、織田信長と接触している。豊臣秀吉の小田原攻めには参加せず、所領を没収されて抵抗するが、あえなく敗北した。



南陸奥国



ゲームスタート時の石高	8万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	65万石
この国の町の最大価値	30

南陸奥国の各城は、そろそろ堅い！ すべて、レベルは10以上だ。独立勢力の兵数も葦名家より多いところ、プレイするには厳しい状況なのだ。会津城のレベルは20なので、この城に籠城して攻撃を防ぎ、敵が弱体化したところを攻めるしかないと。なお、越後国とは同盟関係にある。

葦名 盛氏	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
相馬 盛胤	30	7	6	0	10	0
結城 晴綱	22	10	2	0	15	0
	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲

(1521～1580) 相馬、結城などの諸豪族を従え、上杉、武田、北条とは同盟を結び、佐竹と戦って葦名氏の全盛期を築いた。葦名氏16代目の当主。
 (1529～1601) 伊達晴宗と戦って数多くの兵士を討ち取り、伊達輝宗と戦っていくつの城を占拠した強者。のちに、伊達家とは和睦している。
 (生没年不明) 戦国大名として自立した、下総国の結城氏とは違う。葦名氏と結んで常陸の佐竹氏と戦ったが、あえなく敗北している。

二階堂 盛義 畠山 義國 田村 隆頭

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
22	5	3	0	15	0	(?～1581) 1563年から2年間にわたって葦名盛氏と戦うが、敗北して和睦し、協力して三春城の田村氏と戦った。伊達宗との戦いに敗れ、滅亡する。
17	2	1	0	10	0	(?～1580) 奥羽二本松畠山氏の14代目当主。息子の義継は伊達輝宗を拉致し、阿武隈河畔で刺し違えて死亡している。
28	3	8	0	10	0	(?～1574) 1560年には、佐竹義昭と共同して葦名盛氏と戦い、1574年には侵攻してきた佐竹軍を葦名、結城との連合軍で打ち破っている。同年、急病のため死去。



出羽国

ゲームスタート時の石高	9万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	58万石
この国の町の最大価値	40

この出羽国も独立勢力の城は堅固で、兵数も最上家より多い。最上義守も氏家定直も、特に優秀な武将というわけではないので、苦戦は必死だろう。同盟関係にある越後国は別として、北陸奥国の伊達氏が侵攻する前に、国内を統一できるかどうかがカギなのだ。義光が現われるまで、ガンバレ！

最上 義守 氏家 定道 小野寺 景道 武藤 出羽守 上山 满兼

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
30	1	5	0	5	0	(1521～1590) 2歳にして最上家の当主になったため、内部抗争や親戚の伊達家の介入が相次いだ。息子の義光とも家督相続で意見が対立し、隠居させられている。
47	5	7	10	5	0	(生没年不明) 義守の長男である義光と次男の義時とが家督相続で争ったとき、調停を行ない、義光へ家督をいくように努力した。
17	6	5	0	20	0	(?～1597) 横手佐渡守を討ち、横手城城主となった。小野寺家の最盛期を築き、上洛して織田信長とも会見している。帰國後は隠居して、息子の義道に家督を譲った。
26	5	3	0	15	0	(1551～1583) 大宝寺義氏ともいう。最上義光と戦うため伊達氏との連合を計画、織田信長にも贈り物をして縁を結ぶが、臣家の裏切りにあって自害する。
27	4	2	0	10	0	(生没年不明) 資料不足のため、くわしいことはわからないが、出羽国の地方豪族と思われる。ゲーム中でも、たいした能力値は持っていない。

関東地方

関東は、群雄割拠の地方で、各家とも平定のチャンスを持っている。ひとたび平定すれば、石高の高い国が多いので、天下統一への基盤になることは確

実だ。下野、相模、常陸の3カ国では、鉱山が発見される可能性もある。ただ、複数の国につながる城が多いため、守りが難しいという欠点はある。



常陸国

ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	58万石
この国の町の最大価値	40

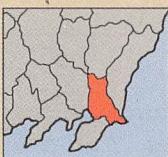
佐竹氏は地味な存在ながら、かなり強い大名である。常陸国は最大石高も高いので、ここを基盤にして関東平定から、天下統一を狙えるだろう。問題は、関東の各国がほとんどほかの国とつながっていることで、武将の頭数が少ないいうちは守りに苦労する。同盟国がないので、はやめの同盟が必要だ。

佐竹 義昭 佐竹 義里 小田 氏治 江戸 忠通 水谷 正村

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
20	8	6	0	15	0	(1531～1565) 江戸忠通を破り、1560年には結城晴綱の寺山城も攻め、1564年には小田城の小田氏治を敗走させるほどの武勇を誇ったが、わずか35歳で急死した。
38	7	5	0	15	0	(生没年不明) 義昭の重臣として佐竹家を支えた。下野国の那須資胤との戦いでは指揮をとるが、味方の油断から敗れ、敗退している。
17	7	4	0	20	0	(1534～1601) 小田城主だが、佐竹氏との戦いでは負け続け、1579年の戦いでも負けて、ついに和睦している。豊臣秀吉の関東平定の際、領土は没収された。
44	6	6	0	20	0	(1507～1564) 1545年頃から佐竹氏と争うが、地力の差はないかんともしがたく、1551年に和議を結んで佐竹氏の家臣になっている。
31	7	3	0	10	0	(1521～1596) 蟠竜斎という、号名のほうが有名だろう。1590年、豊臣秀吉から所領安堵の沙汰を受けると、弟に家督を譲り、下野国久田城に隠居した。



下總国



ゲームスタート時の石高	5万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	10
この国の最大石高	46万石
この国の町の最大価値	35

はっきり言って弱い！ とてもじゃないが、天下統一などできそうにない。威信値の高さを利用して同盟を結んで、必死に国内統一したとしても、その頃には北条家が手をつけられないぐらい強大化していることだろう。上級者以上にしかプレイをお勧めできない、とっても厳しい大名。

足利 晴氏

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
43	3	3	0	15	0	(1508～1560) 古河公方として、1538年に北条氏綱との連合で里見・足利義明軍を破る活躍をみせるが、1554年に北条氏康に幽閉されてしまう。

佐々木 大学助

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
31	4	2	0	10	0	(生没年不明) 奥羽の葛西氏に仕えた、佐々木一族のひとりか？ 国府台という関東の要営にいるわりには、資料中に姿を見せていない。

足利 順純

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
15	2	3	0	15	0	(？～1601) 小弓御所と呼ばれた、足利晴氏の息子。のちに豊臣秀吉の家臣となり、喜連川という姓を使った。下野国塩谷郡喜連川城の城主である。

結城 政勝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
32	5	4	0	15	0	(？～1559) 北条氏康と連合して、下野国と下総国の北部を領有した。1556年に定められた法度は、結城氏新法度と呼ばれ、分国法のひとつに数えられている。

千葉 肇富

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
23	4	5	0	10	0	(生没年不明) 千葉家は代々、佐倉城を居城としてきた。息子の邦胤と清胤は北条家に従い、清胤などは豊臣秀吉の征討軍と戦って討死している。



上総国



ゲームスタート時の石高	21万石
ゲームスタート時の持ち城数	4
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	52万石
この国の町の最大価値	25

関東地方の3強といえば、北条氏と佐竹氏、そしてこの里見氏なのだ。慎重に戦ったとしても1年で国内を平定し、2年目以降から下総国へ侵攻だ！ 端の国なので後背に敵を受けず、侵攻方向がひとつなので、初心者にもやりやすい国だろう。勢力を増大して、北条氏と対決だ。

里見 義堯

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
39	6	6	0	10	0	(1512～1574) 国府台の戦いで、足利晴氏と北条氏綱の連合軍に敗れたが、そのちも毎年のようにして北条氏と戦い、房総地域に勢力を拡大させた。

里見 義弘

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
21	7	5	0	10	0	(1530～1578) 義堯の息子。1564年、太田資正と結び北条氏康と国府台で戦うが、父親と同様に敗北。上総国に逃走することになるが、のちに勢力を回復する。

正木 時茂

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
36	7	4	11	10	0	(生没年不明) 里見家の家臣として、上総、下総、相模などの各國を転戦し勇名を馳せた。槍術に優れていたため、槍大膳とも呼ばれていた。

正木 時忠

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
32	5	6	9	10	0	(？～1576) 1533年以来、里見家の家臣として働いたが、1564年の国府台での戦いのち、里見家を裏切って北条家の家臣になる。上総国や下総国の城を攻略した。

武田 信政

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
47	4	4	0	15	0	(生没年不明) 1552年、北条氏に内通し、里見氏の攻撃をうける。佐貫城の武田信が救援に来たが、国信はあえなく敗死してしまう。

武田 国信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
41	3	6	0	10	0	(？～1552) 古河公方である足利氏の家臣。1552年、里見家の攻撃を受けた椎津城の武田信政を助けるために出陣するが、乱戦の末に討死した。



下野国



ゲームスタート時の石高	5万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	44万石
この国の町の最大価値	25

当主である宇都宮広綱は役に立たないので、いないと思ったほうがいいかもしれない。下野国を平定することはそんなに難しいことではないが、5つある城のうち4つが他国と連結しているので、守りはかなり難しい。武将の頭数をそろえないといふと、他国に攻め込むことなどできないだろう。

宇都宮 広綱	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
芳賀 高定	7	1	1	0	5	0	(1543~1580) 幼くして家督を継いだが、芳賀高定の力を借りて勢力を伸ばした。北条家と戦うため、佐野昌綱と手を結び、越後の上杉謙信とも連合した。
塩谷 義孝	23	4	5	13	10	0	(生没年不明) 1551年頃から、幼主である広綱の補佐をして宇都宮家を切り回し、広綱が成長したあとも家臣団の中心として政務に参画した。
佐野 昌綱	46	5	3	12	5	0	(生没年不明) 1584年に弟の塩谷義孝と争って城を奪うが、翌年の薄葉ヶ原の戦いに敗れて失う。1592年には、豊臣秀吉に逆らったために、奥州に流された。
那須 資胤	24	7	5	0	15	0	(? ~1574) 足利義氏とともに、武田信玄や北条氏康と結んで、上杉謙信と争った。上杉謙信には合わせて10回も攻撃を受けたが、見事に城を守り通した。
小山 高朝	26	6	4	0	15	0	(生没年不明) 那須資胤は、下野国那須郡で活躍した那須衆寄合のひとりである。息子の資晴は、1585年の熊下山の戦いで宇都宮広綱に大勝し、下野国に勢力を張った。
大田原 繩清	43	5	4	0	15	0	(1508~1574) 結城政勝の弟であるが、小山家の家督を継いだ。1539年と1547年に宇都宮軍を破り、武勲をあげるが、1562年に上杉謙信に敗れ降伏する。
	27	5	7	0	15	0	(生没年不明) 戦国時代に結成された武士連合、那須七党のひとり。息子の晴清は関ヶ原の戦いで東軍につき、領土を徳川家から安堵されている。

上野国



ゲームスタート時の石高 14万石
ゲームスタート時の持ち城数 3
ゲームスタート時の威信 10
この国の最大石高 60万石
この国の町の最大価値 25

長野業正が頼みのつなであり、彼なくして上野国の平定はありえない。威信値の高さを利用して同盟交渉を行ない、敵を絞って戦えば、善戦できるだろう。この国でも問題点は、武将の少なさとつながる国の多さ。この2つを克服しないと、史実通りに他国のエジキとなる。しっかりとやろう。

内上杉 憲政	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
小幡 憲重	28	1	5	0	10	0	(? ~1579) 関東管領として北条氏康と争うが、1546年の戦いで大敗。その後、北条家の圧迫を防ぐことができず、越後の長尾景虎(上杉謙信)を頼って落ちのびる。
長野 業正	27	9	4	5	5	0	(? ~1575) 内上杉家が滅んだ後、1560年頃に武田家の臣となり、500騎を指揮する侍大将になった。1575年5月、長篠の戦いで討死。
長尾 憲景	44	14	3	9	5	0	(? ~1561) 武田信玄に、業正がいる限り上州には手がだせないと言わせたほどの名将。武田軍団が箕輪城を落としたのは、業正の病死から2年後のことである。
由良 成繁	40	5	1	0	20	0	(1511~1583) 上杉謙信が関東を席捲したときは上杉家に従い、謙信の死後は武田家に味方し、やがて北条家に従うのだが、1582年には織田家についた。風見鶏武将。
赤井 照景	45	7	6	0	20	0	(1506~1578) 北条家と武田家の上野国侵攻に対抗して、上杉謙信とともに戦った。1569年の上杉家と北条家の同盟に際しては、北条方として交渉に努力した。
	23	6	5	0	20	0	(生没年不明) 1559年の父親の死によって、家督を相続する。しかし、館林城は1562年の上杉謙信の攻撃で落城。照景は武蔵国へ逃げたといわれている。

武藏国



ゲームスタート時の石高 19万石
ゲームスタート時の持ち城数 9
ゲームスタート時の威信 3
この国の最大石高 80万石
この国の町の最大価値 50

成田長泰の居城である忍城は、レベル17の堅城である。これひとつを落とすのでもやっかいなのに、江戸城がレベル13、鉢形城がレベル11とこの両城とも堅い。この3つの城を落城させ、武藏国を平定するには、かなりの年数を必要とするだろう。それまでに北条家が、攻めてこないことを祈るのみだ。

扇谷上杉 憲賢	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
太田 資正	49	3	3	0	10	0	(? ~1560) 扇谷上杉氏は、1546年の上杉朝定の敗死で事實上は壊滅している。憲賢も関東管領の力はなく、ひとつの城の城主にしかすぎない。
	29	10	10	10	5	0	(1522~1591) 上杉家の家臣として、最後まで北条家と戦った。謙信の関東出兵では、管領家への復帰を豪族たちに呼びかけ、熱意と知謀で多くの豪族を味方にした。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
上田	朝直	57	4	5	5	5	0	(1494~1582) 扇谷上杉家に仕えたが、のちに北条家の家臣となった。当時としてはかなりの高齢である、89歳まで生きた珍しい武将である。
成田	長泰	43	4	4	0	15	0	(生没不明) 上杉憲政の家臣から上杉謙信へと従っていたが、1560年に謙信が小田原城を攻めたとき、裏切って北条家の家臣となった。
太田	康資	35	7	5	0	15	0	(1516~1566) 主君である上杉朝興を裏切って北条氏綱に内応、江戸城を占領させた。この時の恩賞に不満をもち、里見義弘と結んで北条氏康と戦うが敗北する。
藤田	康邦	39	4	3	0	10	0	(?~1555) 北条氏康の息子である氏邦に娘を嫁がせ、氏邦が藤田の姓を継いだため、晩年は用土氏として用土の姓をもつた。
大石	定久	29	4	2	0	10	0	(生没年不明) 山内上杉家に従って、武蔵国守護代を務めた。1546年、北条氏康の軍門に降り、娘を氏康の息子である氏照に嫁がせた。



相模国

ゲームスタート時の石高	28万石
ゲームスタート時の持ち城数	5
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	32万石
この国の町の最大価値	50

武田家と今川家との同盟で西上はできないが、それだけ関東地方平定に専念できるのだ。関東地方は石高の大きい国が多いので、ここを制圧することは天下統一に直結している。同盟を利用するだけ利用して、勢力拡大に努めよう。あとは、同盟をいつ破棄するかを、決定するだけだ。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
北条	氏康	36	12	12	0	10	0	(1515~1571) 扇谷上杉氏を滅ぼし、山内上杉氏を追い出でて関東を掌握した。軍略にも内治にも勝れた名将で、今川義元、武田信玄と3国同盟を結成していた。
大道寺	盛昌	48	7	7	13	5	0	(生没年不明) 北条家の重臣として、のちに武蔵国河越城の城代を務めている。河越城は関東防衛の要害だったので、そこを任せていたのは信頼の厚い証拠である。
遠山	綱景	34	9	3	12	5	0	(?~1564) 連歌を好んだ、風流な武将として知られている。1564年、里見義弘との国府台の戦いで、激戦のうちに戦死。1月4日のことであった。
内藤	大和守	39	6	2	10	5	0	(生没年不明) 内藤康行が本名。北条家の家臣として、相模津久井衆の筆頭に数えられている。1560年前後まで生きていたようだ。
北条	綱成	36	12	4	16	10	0	(1515~1587) 大きな戦いに参加すること36回、小さな戦いは数知れずの歴戦の勇将。戦場では必ず、勝った!と怒号しながら敵陣へ突撃していくという。
笠原	美作守	39	7	6	11	5	0	(生没年不明) 伊豆衆の筆頭として、伊豆郡代を務めた重臣。評定衆(政務の決定基幹)のひとりとしても、名をつらねている。本名は伝わっておらず、不詳。
富永	直勝	42	8	5	12	10	0	(1509~1564) 北条家の家臣。1564年に里見義弘と太田資正の連合軍と国府台で戦って、1月8日の激戦で討死した。享年56歳。江戸衆のひとりであった。

東海地方

美濃、尾張、伊勢の3カ国は、日本でも有数の豊かな土地だ。このうちの2カ国を支配しただけでも、戦国大名になしてしまうのだ。それだけに、ここ

を地盤とする大名は強い。織田家に斎藤家、そして遠江国だが今川家。天下統一は夢ではない。ただし、尾張と伊勢は一向一揆が起きやすいので注意。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
駿河	國							
		ゲームスタート時の石高	23万石					
		ゲームスタート時の持ち城数	4					
		ゲームスタート時の威信	10					
		この国の最大石高	25万石					
		この国の町の最大価値	60					

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
今川	義元	32	6	16	0	15	0	(1519~1560) 駿河、遠江、三河の3カ国を領有し、織田信長の奇襲に敗れなければ、天下統一できるほどの実力をもっていた。京風を好んだ知将である。

	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
今川 氏豊	27	1	6	0	5	0	(生没年不明) 今川氏の一族、義元の弟とも言われている。尾張国那古野城主だったが、信長の父、信秀に城を奪われて駿河国へ敗走した。
関口 氏広	36	2	3	12	5	0	(?~1562) 今川義元の妹婿であり、今川氏一族のひとり。娘は徳川家康の正室、築山殿である。1562年、今川家の末期を憂いつつ、自害して果てた。
瀬名 氏俊	28	4	4	15	5	0	(生没年不明) 3万の兵士を率いての大上洛戦、それが今川義元の西上だった。氏俊もこの上洛軍に加わり、桶狭間の戦いでも侍大将として戦っている。
鵜殿 長照	30	6	4	9	10	0	(?~1562) 1559年から尾張国の出城の守将を務め、桶狭間で義元が敗死したあとも、今川家に忠節を尽くした。1562年、徳川家康と戦って敗北し、自刃した。
安部 元真	38	5	2	12	5	0	(1513~1587) 義元の死後、徳川家の家臣になる。1577年に駿河で武田軍の攻撃を受けるが、よく城を守り、敵将を討ち取る戦功をあげている。
葛山 氏元	33	5	9	8	15	0	(生没年不明) 領内寺社の保護、家臣の屋敷分年貢の減免などの内政政策で知られている。1568年、武田信玄と内通して、今川家を裏切り、娘を武田家に嫁がせている。

遠江国



ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	3
この国の最大石高	39万石
この国の町の最大価値	40

今川家に敗れることは必至で、アドバイスできることはない。史実では、飯尾氏は、今川家の家来なんだから、争うこと自体、間違っているのだ。上級者が運を天にまかせながら戦うのが、飯尾氏での正しい遊び方ですね。もしかしたら今川家を打倒し、東海の覇者になれるかもしれないぞ！

	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
飯尾 賢連	30	5	2	0	15	0	(生没年不明) 1516年、今川家の遠江国侵攻のち、今川家の家臣として遠江国に入る。その後引馬城の城主になつたらしい。
朝比奈 泰能	46	6	3	0	20	0	(?~1557) 朝比奈一族のひとり、今川家の家臣。遠江国は、1524年頃から事実上は今川氏の領国であった。父の泰熙は、遠江国征服戦の功労者。
小笠原 氏清	31	6	2	0	15	0	(?~1569) 今川氏一族として活躍したが、今川義元の死から8年目の1568年に徳川家康へ臣従。その翌年の、1569年に死亡している。
松井 宗信	51	4	5	0	15	0	(生没年不明) 駿河国松井氏のひとり、今川家の家臣。1529年から、二俣城城主となる。1559年には代官職も兼任し、二俣地域の知行を受ける。

三河国



ゲームスタート時の石高	5万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	4
この国の最大石高	42万石
この国の町の最大価値	45

刈谷城にいる水野信元を倒せるかどうか、三河国平定のカギ。吉田城と野田城にいる一向一揆は、兵力は多いが強くはないので十分に勝てる。徳川家康などの優秀な家臣が、早く現われてくれることが望みで、それまで今川家や織田家の攻撃をかわすことができれば、なんとかなるかもしれない。

	年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
松平 親乗	31	4	5	0	10	0	(生没年不明) 大給松平氏のひとり。息子の真乗は、家康の家臣として各地を転戦。長篠の戦いのときも、要害を落とす戦功をたてている。
酒井 正親	30	5	4	14	10	0	(1521~1576) 古くから松平宗家(徳川家)に仕えた。家康の祖父清家の頃からの重臣である。1561年、譜代の家臣として初めて、城主を務めた。
松井 忠次	29	6	3	15	10	0	(1521~1583) 徳川家の家臣として各地を転戦、戦功により松平の姓を受ける。姉川の戦い、三方ヶ原の戦い、長篠の戦いにも従軍している。
菅沼 定村	31	4	2	0	10	0	(生没年不明) 三河国の地方豪族。息子の定盈は徳川家に仕え、各地を転戦、閑ヶ原の戦いでは江戸城の留守居番を勤めるほど重用された。
水野 信元	29	7	5	0	20	0	(?~1575) 徳川家康の母、御大の方の兄。織田信長に従って、今川家とたびたび交戦する。1575年、武田家への内通を疑われ、岡崎で殺害されてしまう。

尾張国



ゲームスタート時の石高	8万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	66万石
この国の町の最大価値	60

尾張国の平定がめんどうだが、けっして難しいことではない。優秀な家臣もゾクゾクと登場してくるし、隣接する国は石高の大きいところばかりだ。史実のような侵攻ルートをすれば、まず無難であろう。天下統一を無理なくできる大名のひとりである。なお、美濃国とは同盟関係にある。

織田 信長

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
17	10	14	0	20	1	(1534～1582) 宣教師ルイス・フロイスは信長の印象を、背が高く痩せていて、ひげは少ない。声はかん高く、武技を好むので粗野である、と述べている。

林 通勝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
36	4	7	10	8	0	(生没年不明) 平手政秀とともに家老として信長を支え、数多くの戦いに参加して戦功をあげたが、1581年に下田甲斐国の謀叛鎮圧に失敗し追放された。

平手 政秀

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
59	3	9	16	7	0	(1492～1553) 信長の教育係であり、乱行を止めさせたため切腹して諫死した。信長はこの時を境にして、尾張国統一、天下統一の道を歩むことになる。

織田 信友

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	2	4	0	5	0	(?～1555) 反信長派として策謀したが、しょせんは信長の敵ではなく、信長派の信光に攻められて切腹した。清洲城はこののちに、信長の居城となる。

織田 信安

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
35	3	2	0	15	0	(?～1591) 反信長派として、信長の弟である信行を支持した。1558年に岩倉城から敗走して美濃に逃げるが、そこでも斎藤義龍の力を借りて信長に対抗した。

織田 信光

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
29	7	4	0	20	0	(?～1555) 信長と密約して信友を切腹させ、清洲城を乗っ取った。しかし、那古屋城で家臣の坂井孫八郎の裏切りにあり、刺殺されてしまった。

織田 信清

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
19	4	2	0	10	0	(生没年不明) 犬山城の城主として信長に従い、岩倉城の信光を攻めるときにも活躍したといわれる。1558年のこの戦いは、尾張国平定を決定づけるものだった。

山口 教継

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
46	2	3	0	5	0	(?～1553) 織田家の古くからの家臣で、鳴海城の守将だった。1553年、今川義元に降伏した罪により、信長によって殺されてしまった。



美濃国



ゲームスタート時の石高	26万石
ゲームスタート時の持ち城数	3
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	64万石
この国の町の最大価値	50

斎藤道三は凄い能力を持っているし、義龍も軍事に優れた武将なのだが、いかんせん美濃国は各国につながりすぎている。7つの城のうち6つが他国とつながっていては、おちおち他国にも攻め込んでいられない。だが、やっぱり斎藤氏は強い。同盟交渉で背後の敵をなくせば、かなりの線でいけるぞ。

斎藤 道三

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
57	15	15	0	10	1	(1494～1556) 弁舌と知略に優れ、油売りの身分から美濃国を乗っ取った戦国の奸雄。娘婿である信長と会見したい、うつけ者と噂された信長の眞実の姿を見抜いた。

斎藤 義龍

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
24	12	6	0	10	0	(1527～1561) 自分が道三の息子ではなく、滅ぼされた土岐頼芸の子と知られた義龍は、父親と一緒に恨みをはらすべく、道三を長良川の戦いで敗死させる。

明智 光安

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
35	5	5	5	5	0	(?～1556) 明智光秀の叔父で、斎藤家の臣。道三と義龍の争いでは道三側に属し、長良川の戦いで敗れたあと籠城するが、義龍の攻撃をうけて自害。

安藤 守就

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
44	5	10	0	15	0	(?～1582) 美濃3人衆と呼ばれた、斎藤家の重臣。織田信長の臣となったがのちに追放され、本能寺の変に乗じて決起したが、稲葉良通に敗れ敗死した。

稲葉 義通

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
36	10	5	0	15	0	(1515～1588) 道号は一鉄。氏直元や安藤守就とともに、美濃3人衆と呼ばれた斎藤家の重臣。織田信長の死後には豊臣秀吉にも仕えた。文才豊かな勇将。

氏家 直元

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
36	9	5	0	10	0	(?～1571) 稲葉や安藤とともに、信長に協力して美濃国占領に活躍。1551年、伊勢長島一揆討伐戦で織田軍が敗走した際、殿軍を務め激戦の末に討死した。

蜂須賀 正勝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	6	5	0	10	0	(1526～1586) 通称は蜂須賀小六。豊臣秀吉の家臣として各地で戦い、多くの戦功をあげている。四国征伐にも60歳で從軍、戦功により息子の家政が大名になった。

伊勢国



ゲームスタート時の石高	10万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	68万石
この国の町の最大価値	60

独立勢力の兵数が多く、伊勢国を平定するだけでもひと苦労だ。ひと苦労どころか、ちょっと間違えると反対に滅ぼされる可能性すらある。それに、もし平定できたとしてもかなりの年月を必要とするので、その間に他国の勢力が強化していることが十分に考えられるのだ。まったく不利だね。

北畠 晴具

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
48	5	4	0	5	0	(1503～1563) 文化人として有名で、和歌や連歌の名人として知られている。武将としての能力は低く、国内の豪族たちの紛争を解決できなかった。

北畠 具教

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
24	6	4	0	5	0	(1528～1576) 伊勢一帯に北畠氏の勢力を伸ばしたが、信長の侵攻を受けて苦戦。よく防いだが実力差はいかんともしがたく、北畠家の家督を信長の3男に譲り隠居。

木造 具政

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
21	4	6	0	5	0	(生没年不明) 北畠具晴の3男ながら、本家を背いて織田信長に仕えた。のちに織田信雄を補佐し、豊臣秀吉の命令をうけた蒲生氏郷と戦っている。

関 盛信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
29	4	4	0	15	0	(?～1593) 織田信長の伊勢侵攻に際し、降伏して臣従。のちに豊臣秀吉に仕え、小牧長久手の戦いなどにも参加した。晩年は、蒲生氏郷の旗下に入る。

長野 藤定

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	6	2	0	15	0	(1526～1562) 南伊勢の豪族として、長年にわたって北畠氏と戦った。1558年、北畠具教の2男を長野家の跡取りにすることで和睦、長野家は北畠家の家臣となった。

九鬼 浄隆

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
21	4	2	0	15	0	(?～1560) 九鬼水軍の武将。北畠氏と志摩の土地を巡ってよく戦い、1560年に田城城の攻防戦で死亡。九鬼嘉隆は、浄隆の弟である。

甲信地方

甲信地方の3カ国の石高をすべて合わせ、やっとのこと武蔵国の石高を上回ることができる。それほどに痩せた土地柄なのだ。しかし、この地方は人

材の宝庫である。特に甲斐は凄く、軍事値や内政値が10以上の武将が、ゴロゴロと現れてくる。ぜひとも、押さえておきたい国だろう。

甲斐国



ゲームスタート時の石高	24万石
ゲームスタート時の持ち城数	4
ゲームスタート時の威信	9
この国の最大石高	28万石
この国の町の最大価値	50

今川家と北条家との同盟のおかげで背後を突かれる心配はないし、家臣も優秀なのがそろっている。まったく、言うことなし。あとは総石高を増やし、多くの兵を養うだけだ。そのためには、信濃地方へ侵攻するよりも、上野国から関東を制圧したほうがいいだろう。上杉家とは、ぜひ同盟したい。

武田 信玄

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
30	10	15	0	10	0	(1521～1573) 上杉謙信や北条氏康と関東で争った軍略もさることながら、治水工事や甲州法度(分国法)をつくり、治世にも優れた名将。

武田 信繁

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	12	11	0	10	0	(1525～1561) 信玄の弟であり、兄と並ぶほどの知勇に優れた武将。ついに信玄の裏方として務め、1561年の川中島の戦いでも、信玄を守るために壮絶な戦死を遂げる。

飯富 虎昌

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
45	14	3	10	10	0	(?～1565) 合戦ではつねに先陣にたち、その豪勇ぶりで甲田の猛虎と恐れられた。1565年、武田義信叛逆事件に連座し、罪状をひとりで受けて自害した。

馬場 信春

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
36	9	11	15	5	0	(?～1575) 武田24将の中でも、抜群の謀略を誇った名将。数多くの戦いに従軍して武田家を助け、長篠の敗戦では勝頼を安全圏に逃がすために奮戦、討死した。

穴山 信友

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
47	6	10	9	5	0	(?～1560) 信玄の姉を妻とし、武田一族のひとりとなる。南信濃での戦いで、戦功をあげた。武田家を裏切りで滅亡させた穴山信君は、信友の息子である。

小山田 信有

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
32	12	6	10	10	0	(?～1552) 小山田氏は甲斐の旧族で、武田家に仕えたのは1532年のことである。1552年、村上義清との常田での合戦で討死を遂げた。





南信濃国



ゲームスタート時の石高	3万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	7
この国の最大石高	23万石
この国の町の最大価値	15

独立勢力が乱立し、国内平定だけでも大変。それに加えて、武田家や今川家といった強力な大名の侵攻を受けやすいので、おせじにもプレイしやすい国とはいえない。敵に攻め込まれて奮闘するのだが、力尽きて敗れる。そんな、小大名の悲哀を味わうには、うってつけの大名であろう。

小笠原 長時

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
37	8	4	0	10	0	(1514～1583) 武田氏の信濃侵攻に対抗して戦い続けるが、1548年の塙尻峠の戦いで大敗。村上義清を頼って領地奪回を狙うが果たせず、各地を流浪して生涯を終えた。

木曾 義康

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
37	7	4	0	10	0	(1514～1579) 村上や小笠原とともに、武田氏の信濃侵攻に対抗する。1549年には鳥居峠で武田軍を撃退するが、抵抗もそこまで、1555には武田信玄に降伏した。

小笠原 信貴

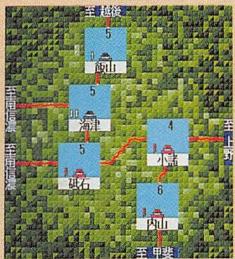
年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
31	5	5	0	10	0	(生没年不明) 1554年に武田氏に降り、信濃先方衆として働いた。先方衆とは、つねに最前線において戦う突撃部隊のことである。

保科 正俊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
42	9	2	0	5	0	(1509～1593) 1550年前後、武田家に仕えた。信濃先方衆として120騎の騎馬を従え、槍弾正といわれた勇士であった。武田家滅亡後は、徳川家に仕えている。

諏訪 順豊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	6	4	0	10	0	(?～1582) 信濃諏訪一族のひとり。武田家に仕えて、最後まで織田軍と戦った。1582年の3月、諏訪で織田の大軍と戦い、激戦の末に討死した。



北信濃国



ゲームスタート時の石高	8万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	35万石
この国の町の最大価値	25

村上義清の軍事値14は、かなり強力だ。1年で北信濃を平定することも、けっして夢ではない。問題は武田家の動きで、全面的な戦いになると、さすがに勝ち目は薄い。運よく撃退できれば勢力を伸ばすチャンスなのだが、状況はかなり厳しいことを頭に入れておいてほしい。通好みの国といえる。

村上 義清

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
48	14	7	0	10	0	(1503～1573) 信玄の信濃侵攻に対して、二度までも撃退した猛将。しかし、真田幸隆の謀略で豪族の裏切りにあり、1553年に越後へと敗走し、上杉の武将となった。

楽岩寺 光氏

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
47	9	2	6	10	0	(生没年不明) 村上氏旗下の地方豪族。村上義清が越後に落ちのびたあとは、武田家に臣従した。もと信濃国楽岩寺の僧侶であったという。

高梨 政頼

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
43	7	6	6	10	0	(生没年不明) 信濃国の豪族で、武田信玄の圧力に屈し越後國へ逃れた。春日山城留守居を務めるほど謙信に信頼され、1561年の川中島の戦いでは先陣を受け持った。

屋代 政国

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
24	6	3	0	10	0	(生没年不明) 村上氏に属したが、1553年から武田家に臣従。1582年に武田家が滅亡してからは、織田家の武将である森長可のもとで仕えた。

相木 政朝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
45	4	3	0	10	0	(生没年不明) 経歴がいっさい不明、信濃の地方豪族だろうか？ 北信濃国で最低の軍事値なだけに、大きな勢力ではなかったと思われる。

蘆田 信守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
23	8	2	0	10	0	(?～1575) 武田信玄に仕え、1572年の三方ヶ原の戦い以後に二俣城城主となる。1575年、長篠の勝利で勢いづくり徳川軍に二俣城を包囲され、籠城中に病死した。



北陸地方

北陸地方の国は総じて石高が高く、他国とつながる城も少なくて守りやすいので、非常に有利な土地柄といえる。しかし、大雪が降る可能性が高く、行

動が年2回ほどに制限されるし、なんといっても一向一揆の発生率が極めて高いのだ！ 北陸地方の戦いは、一向一揆軍との戦い、といえるだろう。



越後国



ゲームスタート時の石高	18万石
ゲームスタート時の持ち城数	3
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	62万石
この国の町の最大価値	60

大雪さえなければ、1年間で国内を平定できる。その後は越中国から加賀国へと、北陸地方に地盤を築き、関東地方へも勢力を伸ばすといいだろう。出羽国と南陸奥国とは同盟を結んでいるので、背後を突かれることもない。武田家をうまく処理すれば(同盟も可)、天下統一はすぐそこだ。

上杉 謙信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
21	16	8	0	10	0	(1530～1578) 領土拡大の野心を持たず、義戦のみを心がけた聖将。その軍団は強く戦国最強と謳われ、武田信玄とともに織田信長が最後まで恐れた武将。

柿崎 景家

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
25	15	1	9	10	0	(?～1575) 精強な上杉軍の中でも、隨一の猛将。数多くの戦いで戦功をあげるが、信長の謀略にあり、謀叛の罪を着せられて誅殺されてしまった。

宇佐美 定満

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
50	3	13	13	10	0	(?～1564) 越後流軍学の創始者といわれる、知謀の武将。1550年に長尾政景と謙信の同盟を成立させるが、その政景と舟遊び中に転覆、2人とも溺死した。

直江 実綱

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
44	8	6	14	5	0	(?～1577) 謙信が家督相続をする際に活躍し、側近中の側近になった。内政、軍事、外交のすべてにわたって謙信を補佐し、上杉家に重きをなした。

吉江 宗信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
46	8	3	10	5	0	(1505～1582) 古くから謙信に従い、その死後は上杉景勝に仕えた。越中國へ侵攻してきた織田軍の柴田勝家と戦い、魚津城が落城した戦いで討死した。

上杉 景信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
19	7	8	0	10	0	(?～1578) 長尾(上杉)一族の筆頭格。謙信の死後に起った家督争いでは景虎につき、景勝と抗争を繰り広げたが、景勝側の山浦国清と戦って討死。

長尾 政景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
26	10	9	0	15	0	(?～1564) 謙信に反旗をひるがえして抗争するが、宇佐見定満の勧めで和解する。1564年に宇佐見定満とともに溺死するが、息子の景勝は謙信の後に家督を継いだ。

新発田 長敦

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
39	8	2	0	10	0	(?～1580) 上杉謙信に臣従し、重臣として政務に参画した。謙信の死後も景勝に忠誠をつくし、上杉家の柱石としてよく働いた。

中条 藤資

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
58	8	5	0	10	0	(生没年不明) 越後国の地方豪族として、他の豪族たちとよく争っている。1561年の川中島の戦いでは謙信に従って出陣し、かなりの戦功をあげた。

色部 勝長

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
43	9	4	0	10	0	(?～1568) 1561年の川中島の戦いでは先陣の柿崎景家を助け、飯富虎昌を敗走させる戦功をあげた。勝長はこの戦により、謙信から血染めの感状を授けられた。

越中国

ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	4
この国の最大石高	43万石
この国の町の最大価値	50

この国で天下統一を目指すのは、はつきり言って不可能であろう。越中国をもし平定したとしても、上杉家や他国の大名を打ち破ることは、まずできない。一向一揆はひっきりなしに起き、国内が安定することはないので、大量に兵を集めることができないのだ。上級者向けの国である。

神保 長職

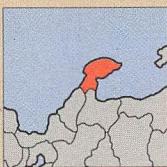
年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
31	6	5	0	10	0	(生没年不明) 1560年、上杉謙信に攻められて城を捨てて逃亡するが、のちに謙信に臣従し、越中国の一一向一揆と戦った。入道して宗昌ともいう。

椎名 康胤

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
29	5	5	0	10	0	(?～1576) 上杉家の家臣であったが、武田信玄と内通して富山城を占拠した。しかし、富山城はすぐに落城し、康胤も謙信に討ち取られた。



能登国

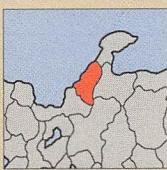


ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	7
この国の最大石高	25万石
この国の町の最大価値	25

一向一揆を鎮圧しない限り、能登国の平定はありえない。だが、たとえ平定したとしても、畠山義続に天下統一を果たす力はない。それどころか、他国に侵攻する力すらないのだ。上級者はこの国でプレイして、弱い者の気持ちを理解するようにしよう。教訓になる国である。トホホ……。

畠山 義続

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1590)
42	3	5	0	10	0	能登守護であったが、一族や重臣の抗争を押さえることができず、1565年には息子の義綱とともに能登から追放され、近江国で生涯を終えた。



加賀国

ゲームスタート時の石高	5万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	43万石
この国の町の最大価値	45

一向一揆は強いわ、富樫晴貞は弱いわけで、まったくやんなっちゃう国なのだ。ありていに言って、1年目でゲームオーバーもありうる国である。勝つなどといった大それたことは考えず、今日を生き抜く、といった謙虚な気持ちが大切だ。謙虚になれない人は、この国でプレイしてはいけない。

富樫 晴貞

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1570)
31	2	1	0	10	0	加賀の守護。1570年、織田信長の朝倉氏攻めに協力しようとしたところ、一向一揆の攻撃を受けて自刃した。これにより、加賀守護の富樫氏は滅亡した。

富樫 泰俊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1511～1574)
40	1	2	9	5	0	1570年、一向一揆の攻撃を受け、越前国に逃亡する。1574年、逃亡先でも一向一揆に攻められ、2人の息子とともに自害した。



越前国

ゲームスタート時の石高	22万石
ゲームスタート時の持ち城数	4
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	75万石
この国の町の最大価値	60

一向一揆を鎮圧すれば、越前国の平定はできる。武田義統などは、朝倉氏の敵ではないのだ。平定をすませたら、北陸地方の制圧に向かうとしよう。丹後国と南近江国とは同盟関係にあるので、後方は心配いらない。ドンドンと前進あるのみで勢力を伸ばせば、天下統一を狙うことでもできる。

朝倉 義景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1533～1573)
18	1	4	0	10	0	反信長同盟のひとりとして何度も信長を苦しめ、武田信玄や本願寺と連合して信長を滅ぼす機会を得ながらも、最後の詰めを欠き、敗れ去った。

朝倉 教景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1477～1555)
74	11	6	10	10	0	越前国の一一向一揆を鎮圧し、近江国へ出陣して六角氏を敗走させ、斎藤氏を助け、織田信秀を破るなど、数々の武勳をたてた朝倉一族の名将。

朝倉 景連

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1570)
32	7	5	10	10	0	1555年、朝倉教景が加賀の一一向一揆の鎮圧に向かった際、景連も大いに戦功をあげた。一乗谷で奉公人を勤めたとされている。

青木 景康

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(生没年不明)
34	2	7	6	5	0	朝倉氏の府中奉行として、夫役や諸役の徵発や裁判の執行などを行なった。奉行とは、その地域の内治を実行する職である。

朝倉 景紀

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1573)
41	7	2	10	10	0	教景の息子。父親とともに各地を転戦し、朝倉氏の勢力増大に努力した。京都では三好軍と戦って勝ち、首級150余りをあげた。

印牧 美満

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(生没年不明)
46	5	6	8	10	0	朝倉の家臣というだけで、ほかはいっさい不明である。ご存じの読者さんがいたら、ぜひ教えてほしいものだ！

武田 義統

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1526～1567)
26	6	2	0	10	0	若狭守護の家系だが、親族の内紛が続き勢力は弱かった。1566年に足利義昭が流れてきたときも内紛で受け入れられず、義昭は朝倉家に向かった。



近畿地方

近畿地方の国は石高は低いが、町の価値は他の地方よりも高い。さすがは、日本の中心地だ。天下統一を成し遂げるには、山城国の完全支配が必要だし、

ゲーム中の最重要地域といえる。それだけにほかの大名との争奪戦は厳しいし、隣接する国には、必ず城がつながっているので、守りはかなり厳しい。



北近江国



ゲームスタート時の石高 12万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 4

この国の大石高 35万石

この国の中の最大価値 20

小谷城はレベル13の堅城で、簡単に落とされることはありえない。あわてずに、じっくりと国内を平定しよう。とはいっても、すべての城が他国とつながっているというのは、守りの面で非常に不利になる。この点で伸び悩むかもしれないけど、けっして他国に簡単には飲み込まれる国ではない。

浅井 久政

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
27	4	6	0	10	0

(?~1573) 京極氏や六角氏の圧迫を受け、何度も苦境に立った。浅井氏の勢力を増大させることはできず、1560年に家督を息子の長政に譲り隠居した。

浅井 忠種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
33	6	7	10	10	0

(生没年不明) 経歴はいっさい不明だが、ゲーム中の能力は並みの上である。当主の久政よりは、いくらか使えるといえるだろう。

赤尾 清綱

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
24	9	4	0	10	0

(?~1573) 浅井長政の重臣として、小谷城内に赤尾曲輪を築き在番した。浅井家が滅亡したときは捕虜になり、のちに処刑された。

雨森 弥兵衛

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
46	7	6	0	10	0

(生没年不明) 浅井久政に仕えていたらしい。近江国伊香郡の出身で、久政の奏者と名前が伝わっている。くわしい経歴は不明だ。

海北 綱親

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
50	11	3	0	10	0

(?~1573) 浅井家の家臣として、武者奉行を務めた重臣。浅井家滅亡の際、綱親も討死した。画家として有名な海北友松は、綱親の息子である。



南近江国



ゲームスタート時の石高 30万石

ゲームスタート時の持ち城数 6

ゲームスタート時の威信 8

この国の大石高 55万石

この国の中の最大価値 50

坂本城にいる一向一揆を鎮圧すれば、それで南近江の平定は完了だ。他国へと、進撃を開始しよう。伊勢国や近畿一帯を制圧することなどは、さして難しいことではないはずだ。問題点があるとすれば人材難で、本当に強い国と対決したときに、どこまで戦えるか不安だということだ。

六角 定頼

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
57	7	7	0	10	0

(1495~1552) 10代将軍足利義植を助けて細川政賢を討伐し、12代将軍足利義晴にも多大な援助をした。定頼はその功により、管領に準ずる待遇を授かった。

六角 義賢

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
31	5	6	0	10	0

(1521~1598) 13代将軍足利義輝を擁護して三好長慶と戦い、義輝を1558年に入京させる。その後、足利義昭を奉じた信長と戦って敗北し、1570年に降伏した。

後藤 賢豊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	5	5	7	10	0

(?~1563) 六角氏の重臣。1559年の観音寺騒動で、六角義弘に殺害された。この騒動を契機に、六角氏は戦国大名の力を失い、没落していく。

進藤 賢盛

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
32	5	4	7	5	0

(生没年不明) 六角氏の外交官として活躍した、進藤貞治の一族であると思われる。貞治は、幕府や本願寺との外交折衝に努力し、1551年に死去している。

三雲 定持

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	6	3	8	10	0

(生没年不明) 近江国甲賀郡の地方豪族、他の重臣とともに六角氏式目(分国法)を制定した。1570年、野洲川の戦いで討死したといわれている。

山中 大和守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
28	6	2	6	5	0

(生没年不明) 山中俊好ないしは、その一族のひとりと思われる。俊好は近江国の地方豪族で、六角氏に仕えたあと、織田信長に従っている。

蒲生 定秀

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
43	6	7	5	10	0

(1508~1579) 六角氏に臣従し、定頼とともに各地を転戦した。1559年は佐和山城の浅井久政を攻め、戦功をあげている。

山岡 景隆

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
26	5	3	7	5	0

(1526~1585) 将軍家の家臣であったが、1569年から信長に臣従した。本能寺の変では近江国瀬田を守り、明智光秀の進撃を見事に阻止している。

山城国



ゲームスタート時の石高 3万石

ゲームスタート時の持ち城数 2

ゲームスタート時の威信 13

この国の最大石高 25万石

この国の町の最大価値 80

足利幕府は死に体であり、岩友成通や比叡山門徒を征伐する力などない。なるようになれで、運命に身をまかせよう。運がよければ、生き残ることができるかもしれないぞ。こんなにも厳しい状況だが、1回はプレイして、足利幕府の崩壊を自分の手で確かめよう。悲しい気分にひたれるぞ。

足利 義輝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
15	7	3	0	5	0	(1536~1565) 13代将軍でありながら、塚原卜伝の指導を受け剣の達人だった。松永久秀に攻められたときも自ら剣をとって戦い、奮闘の末に自害して果てた。

京極 高吉

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
43	1	5	9	5	0	(1508~1581) 名門京極一族のひとり。義輝の死後、義昭のために奔走した。義昭が京都に上洛した際は、ともに行動していたという。

伊勢 定孝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
39	4	4	10	5	0	(?~1562) 1535年から室町幕府の政所執事となる。足利義輝に忠節を尽くして補佐したが、三好義継との京都船岡山での戦いで敗死した。

三淵 晴員

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
51	6	5	9	5	0	(1500~1570) 義晴、義輝、義昭といった3人の將軍に仕え、衰退していく足利幕府を支えた。1570年、静かに世を去っている。

岩成 友通

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
27	6	4	0	20	0	(?~1573) 三好3人衆のひとり。三好家のため、打倒信長の戦いを続ける。義昭が信長と対立した際、兵を挙げるが、細川藤孝の攻撃を受け敗死した。

丹波国



ゲームスタート時の石高 5万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 4

この国の最大石高 26万石

この国の町の最大価値 40

福知山城がレベル13、亀山城はレベル14。とても落とせる城ではない。かといって、独立勢力にこちらを滅ぼす力があるわけでもなく、数年間にわたって睨み合いになるだろう。きっとその間に三好家が勢力を伸ばして、攻めてくるに違いない。うーん、やっぱりこの大名にも勝ち目はない。

波多野 晴通

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
44	5	5	0	10	0	(生没年不明) 細川晴元と協力して、三好長慶と戦う。1552年の戦いで見事に三好軍を撤退させたが、1555年に三好・松永の連合軍に敗れ、八上城を明け渡した。

赤井 家清

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
26	5	3	0	10	0	(1525~1557) 丹波国の地方豪族。1555年、蘆田氏らと戦って重傷を負い、その傷がもとで死亡した。息子の忠家は、徳川家康に仕えた。

蘆田 国住

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
17	4	2	0	10	0	(生没年不明) 丹波の地方豪族。蘆田氏は、1555年に赤井家清と戦っている。1579年、豊臣秀長に攻められて落城、いざこへともなく落ちのびていった。

摂津国



ゲームスタート時の石高 6万石

ゲームスタート時の持ち城数 2

ゲームスタート時の威信 12

この国の最大石高 42万石

この国の町の最大価値 65

一向一揆が籠る大坂城は、なんとレベル40の超巨城である。いったい、こんな城をどうやって落とせというのだ！

これだけでも、細川氏の摂津国平定は不可能だ。豪族レベルから成長できず、いつかは滅ぼされる運命が待っている。それでもプレイしたいという人がいたら、その人はとっても勇気のある人だ。

細川 晴元

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
38	4	6	0	10	1	(1514~1563) 1531年、管領の細川高国を攻め滅ぼして室町幕府の実権を握るが、1549年に細川高国のか養子である氏綱と三好長慶に政争で敗れ、政権を失う。

香西 元成

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
34	6	5	6	10	0	(?~1560) 細川晴元の忠臣として、細川氏綱や三好長慶と戦った。1553年に三好軍の松永久秀が攻めてきたときも、散々に破り、三好家の丹波国占領を阻止した。

細川 元常

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
69	8	6	12	10	0	(1482~1554) 細川晴元を助けて細川高国と戦い、晴元が政権を握った際には、和泉国の守護になっている。細川氏綱との戦いでも、高齢ながら出陣した。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
伊丹	親興	19	4	2	0	10	0	(?~1574) 1568年頃から織田信長に臣従し、三好氏と戦った。しかし、1573年から信長と不仲になり、翌年の1574年には信長軍の攻撃をうけ伊丹城で自害した。
池田	長正	26	5	2	0	10	0	(?~1563) 1550年前後には摂津国内に勢力を広げ、一時期は細川家を凌ぐほどだったが、1558年頃には三好長慶の圧力に負けて臣従した。
明石	祐行	32	5	1	0	10	0	(生没年不明) 摂津国の地方豪族。1555年、三好長慶と赤松義祐の連合軍と戦うが、その後は三好家と協力して各地で戦っている。



河内国



ゲームスタート時の石高 30万石
ゲームスタート時の持ち城数 4
ゲームスタート時の威信 12
この国の大石高 45万石
この国の中の最大価値 90

河内国をすでに制圧している三好家は、近畿地方でもっとも有利な位置にあるといえる。摂津国は大坂城がジャマで侵攻できないが、大和国や紀伊国へと勢力を伸ばして地盤を固めよう。おそらく、六角氏とぶつかり合うことになると思うが、それまでに相手を圧倒できる勢力になっているかがカギだ。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
三好	長慶	29	5	8	0	5	1	(1523~1564) 足利幕府を事実上崩壊させた武将。畿内を中心に多くの敵と戦い、そのほとんどを敗退させたが、晩年は松永久秀の暗躍に翻弄されていた。
三好	長逸	26	4	6	10	5	0	(生没年不明) 長慶の死後、三好3人衆の筆頭として家政を牛耳り、松永久秀とともに足利義輝を攻めて自害させた。1573年、信長軍に敗れたあと行方不明になる。
細川	氏綱	37	1	1	1	5	0	(?~1563) 細川晴元から管領職を奪い取ったが、じょせんは三好長慶の操り人形にすぎなかった。氏綱が死んだあと、室町幕府の管領職は廃止になっている。
三好	康長	32	3	9	8	10	1	(生没年不明) 三好氏のひとりとして織田信長と争ったが、1575年には和睦し、阿波国を与えられた。晩年は豊臣秀吉に仕え、羽柴秀次の養父にもなっている。
三好	義賢	24	8	7	0	10	1	(1527~1562) 1553年、細川持隆を暗殺し阿波国の実権を握る。三好家の重鎮として長慶とともに各地を転戦し、畠山高政との戦いで流れ弾に当たり討死した。



大和国



ゲームスタート時の石高 14万石
ゲームスタート時の持ち城数 2
ゲームスタート時の威信 5
この国の大石高 49万石
この国の中の最大価値 60

河内国から三好家が攻めてくる可能性があるので、信貴山城をあけておくことはできない。守りを固めつつ、大和国を平定しなければならないのだ。しかし、たとえ国内を治めたとしても、近畿地方では勢力を伸ばすことは難しい。それは、各国につながりすぎていて、自国を守るのに汲々とするからだ。

		年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
松永	久秀	43	7	11	0	10	2	(1510~1577) 三好家の臣従だったが、主人の三好家を滅ぼし足利義輝を自殺に追い込み、東大寺大仏殿を焼き討ちしている。奸智に長けた、戦国時代の梟雄。
細川	藤賢	34	2	5	7	10	0	(1517~1590) 1566年の三好家と松永久秀の戦いでは松永側についたが、のちに足利義昭に仕え、晩年は信長に臣従して南近江国坂本城の守将となった。
松永	左門	19	5	6	0	10	0	(生没年不明) 松永久秀の一族と思われる。久秀でさえ出身が不明なのだから、ほかの一族などはまったくわからないのだ。久秀の息子の久通も、何年生まれか不明だ。
筒井	順政	25	3	3	0	15	0	(生没年不明) 筒井順慶の一族か？ 筒井氏は順慶の父、順政の時代から勢力を拡大し、順慶の頃に全盛期を向え大和国を領有した。
越知	家増	36	3	4	0	15	0	(?~1577) 大和国の豪族、越智氏の一族とされるが、くわしいことはあまり伝わっていない。1571年、越智の物領である家増を暗殺し、その地位を奪ったとされる。



紀伊国



ゲームスタート時の石高 5万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 6

この国の最大石高 28万石

この国の町の最大価値 20

高野山門徒に一向一揆、この2つを鎮压しなければ、国内を治めることはできない。とはいっても、それは簡単なことではなく、数年を必要とするはずだ。国内を平定できたら、混乱の近畿よりも、四国に勢力を伸ばしたほうがいい。そのほうが、まだ力をつけられる可能性があるというものだ。

畠山 高政 遊佐 長教 鈴木 佐大夫 高野山門徒

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
25	3	5	0	10	1	(1527～1576) 河内国守護。1561年、六角義賢や根来衆と協力して三好義賢を敗死させ京都を占領するが、すぐに敗れて追い出された。のちに信長に臣従する。
27	5	6	5	10	1	(生没年不明) 河内国守護代。高政の弟である畠山昭高を暗殺するが、織田信長の大軍を受けて敗走した。その後は、行方不明になっている。
26	7	3	7	10	1	(?～1585) 本願寺光佐と協力し、長年にわたって織田信長と争った。1585年、豊臣秀吉の紀州征伐で降伏したが、藤堂高虎に欺かれて自刃した。
30	1	1	0	30	3	高野山門徒は比叡山門徒と同様に、僧兵や信者で構成された武装集団である。戦国時代では、寺や神社が兵力を持つことは、あたり前のことがあったのだ。

山陰地方

石高も低けれども、町の価値も低い、まったくどうしようもない地方である。しかし、だからといって悔ってはいけない。なんと、丹後国以外の国はすべて

鈴山の発見される可能性があるのだ！国ごとの城数が少なくて占領しやすいし、つながっている国も少なく守りやすいのだ。捨てたもんじゃない。



丹後国

ゲームスタート時の石高 4万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 7

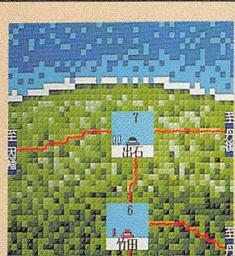
この国の最大石高 13万石

この国の町の最大価値 25

まずは国内平定に全力を尽くすのだが、軍事能力に勝る逸見昌経を討つためには、数年を消費することになるだろう。平定すれば、越前国との同盟を背後の守りに、山陰や山陽地方に進出することができる。しかし、武将の頭数が足りないのは痛い。このため、勢力拡大が制限されるだろう。

一色 義幸 逸見 昌経

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
47	2	5	0	10	0	(生没年不明) 丹後国主。息子の義直は足利義昭を守って、何度も織田信長と戦っている。一色氏は足利幕府の重臣、四職の中のひとりである。
41	4	3	0	10	0	(生没年不明) 丹後国の地方豪族と思われる。丹後国では、一色氏と細川氏の戦いが激化していたので、地方豪族の伸びる可能性はなかっただろう。



但馬国

ゲームスタート時の石高 4万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 6

この国の最大石高 12万石

この国の町の最大価値 30

山陰地方の特徴は、国ごとの城数と武将の数が少ないことだ。城数が少ないので、攻める側には有利だが、守る側には極端に不利だ。なにせ、この但馬国では、城がひとつでも落ちたら、支配率は50パーセントに低下するのだ。山名家は攻めるよりも守ることが多く、確実に不利な状況へ追い込まれる。

山名 祐豊 山名 豊弘 垣屋 光成

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
40	1	5	0	5	0	(1511～1580) 但馬国守護として勢力を張り、因幡国にも出兵した。1570年に織田信長の命令で上洛をするが、1580年には豊臣秀吉の攻撃を受け戦死。
36	3	3	0	5	0	(?～1564) 祐豊の弟。毛利氏と協力して、因幡の山名氏や尼子氏と大いに戦った。1564年に因幡国山名氏の急襲をうけ、防ぎきれずに討死した。
54	4	2	0	10	0	(?～1592) 山名氏の重臣として、但馬国や播磨国にたびたび出兵した。1580年、豊臣秀吉の攻撃を受けて臣従し、鳥取城攻めに参加している。

因幡国

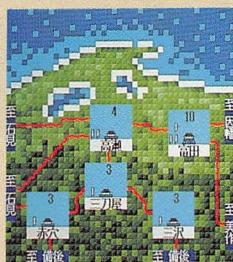


ゲームスタート時の石高	7万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	22万石
この国の町の最大価値	25

但馬国でも書いたが、山陰地方は武将の数が少ない。そのため、他国に攻め込みづらい状況にある。この山名家もご多分にもれず、武将不足である。そして、隣の国は尼子家の出雲国だ。これだけで結果は明らかだろう。まず、天下統一どころか領国を増やすことすらできないだろう。

山名 豊定
南条 宗元

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
39	3	5	0	15	0	(1512～1560) 兄の祐豊の命令をうけて因幡国に入り、因幡守護の山名久通を押さえて領国経営を行なった。晩年の1555年頃には、完全に因幡国を支配していたようだ。
30	5	2	0	10	0	(生没年不明) 豊後守の官位をうけた、伯耆の地方大名。息子の元続は豊臣秀吉から所領を認められ、東伯耆3郡の大名となっている。



出雲国

ゲームスタート時の石高	18万石
ゲームスタート時の持ち城数	5
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	28万石
この国の町の最大価値	30

尼子家の武将は弱くはないが、いかんせん石高が低すぎる。これでは、満足に兵も養えない。はやめに領国を増やして総石高を上げないと、毛利家との戦いに勝つことはできないぞ。毛利家との同盟が続いている間に、どれだけ他国を占領できるか。それが、中国地方の方の覇者を決定する条件だ。

尼子 晴久
尼子 国久
尼子 誠久
宇山 久兼
本城 常光
三刀屋 久祐
赤穴 久清
三沢 為清

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
37	2	4	0	5	0	(1514～1560) 1552年には中国地方8ヵ国の守護になるほど勢力を張ったが、同族の争いで弱体化。1560年に毛利元就の攻撃を防戦中、富田城内で急死した。
61	10	8	16	5	0	(?～1554) 尼子一族の柱石として晴久を助けて領土拡大に努力したが、毛利元就の策謀により晴久に討たれる。尼子家の勢力は、この事件を契機に衰退した。
32	9	5	16	5	0	(?～1554) 国久の息子。父とともに各地を転戦し、数々の武功をあげた。1554年に晴久に攻められ、誠久は刺客に襲われて暗殺された。
35	4	7	12	5	0	(?～1566) 尼子家の筆頭家老として、毛利攻めにたびたび従軍した。1566年に毛利への内応を疑われ、尼子義久によって殺されてしまう。
27	9	1	5	5	0	(?～1562) 1558年に石見銀山を奪って毛利の石見国侵入を撃退するが、1562年には増加を条件に毛利家へ臣従。しかし、毛利陣中に入ったところで謀殺された。
22	5	4	4	5	0	(?～1591) 尼子家臣だったが、1562年には毛利家に臣従した。1588年、上洛して徳川家康に会ったことを疑われ、毛利輝元の怒りをかって追放された。
22	7	1	4	5	0	(?～1595) 赤穴盛清の名前を、祖父と同じ久清に改名した。赤穴家は尼子家の家臣として活躍していたが、久清は毛利に下り臣従した。
15	6	2	4	5	0	(1536～1588) 尼子家から大内家、そして尼子家と主家を変え、1562年からは毛利家に臣従した。これ以降は主家を変えず、子孫も毛利家に仕えている。

山陰地方



石見国



ゲームスタート時の石高	3万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	13万石
この国の町の最大価値	50

独立勢力である吉見正頼のほうが、兵数を多く持っているのだから、小笠原家の未来はないも同然といえる。山陰地方の大名は、尼子家以外、まったく勝ち目はない！ 上級者のみなさんは、ぜひ山陰地方の大名でプレイしましょう。それで天下統一を果たしたら、まさしく奇跡といえるでしょう。

小笠原 長雄

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
40	2	3	0	5	0

吉見 正頼

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
39	5	2	0	10	0

(?~1569) 石見国は毛利家、尼子家、大内家の利害が対立した国であり、長雄もどこかの大名家に属さなければならなかった。1559年、毛利家に臣従する。

(1513~1588) 大内義隆の忠臣。大内家を滅ぼした陶晴賢を倒すため戦い続け、1555年に毛利家の助けを借りて晴賢を滅ぼした。その後は、毛利家に臣従する。

山陽地方

山陰地方と同様に、山陽地方も石高や町の価値は低い。どうも中国地方は、厳しい地域のようだ。この地域の大名で遊ぼうと思っている人は、そういう

ことを頭に入れておくこと。九州地方や四国地方ともつながっているので、山陰地方以上に守りに苦労するだろう。毛利家以外は勝ち目はないか？

播磨国



ゲームスタート時の石高	3万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	40万石
この国の町の最大価値	50

国内平定は難しくないが、ある程度の被害は覚悟しなければならない。平定後の侵攻方向だが、安全にいくのなら美作国か備前国、石高の大きい国を狙うなら摂津国だろう。しかし、播磨国を押さえただけで近畿地方に進出するのは、あまりにも危険すぎる。安全策をとるのが、正しい判断だろう。

浦上 政宗

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	5	5	0	10	0

(?~1566) 黒田氏の娘を息子の嫁とし、小寺氏とも連携を深めようとした。しかし、婚礼の日に赤松政秀の攻撃を受け、息子の清宗とともに討死。

浦上 宗景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
33	7	6	0	10	0

(生没年不明) 兄の正宗と対立しながら、備前国に勢力を伸ばした。しかし、家臣の宇喜多直家が力をつけると立場は逆転し、1577年に直家によって追放された。

浦上 国秀

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
28	6	4	0	10	0

(生没年不明) 政宗、宗景といった2人の兄と対立し、薩摩国に勢力を伸そうとした。結果は宗景の勝利で、国秀は歴史の中に消えていったのである。

別所 村治

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
49	5	3	0	10	0

(1502~1563) 細川晴元の旗下として、東播磨に勢力を伸ばした。1555年以降は三好長慶に臣従し、長慶とともに各地を転戦している。

上月 陸奥守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
39	2	2	0	10	0

(生没年不明) 上月恒織のことか？ 恒織は、1577年に毛利軍を追撃した豊臣秀吉と戦い、側面について奮戦したが討死をとげている。

魚住 吉長

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
35	3	2	0	10	0

(生没年不明) 播磨国の地方豪族、小寺政職の娘を正室としている。小寺氏の旗下のようだったらしく、1565年には小寺則職から感状を得ている。

小寺 政職

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
46	4	1	0	15	0

(生没年不明) 小寺藤士兵衛ともいう。娘は小寺職高に嫁ぎ、利高と孝高という兄弟を生んでいる。孝高とは、黒田官兵衛のことである。

黒田 職高

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
27	5	8	0	10	0

(生没年不明) 小寺氏に仕えていたが、のちに織田信長に臣従する。息子の黒田官兵衛(孝高)は豊臣秀吉に仕え、名軍師として知られている。



美作国



ゲームスタート時の石高 9万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 6

この国の大石高 26万石

この国の中の最大価値 20

国内平定は簡単にできるが、新庄山城が尼子家のある出雲国につながっているのは厳しい。この城をあけるわけにはいかず、ただでさえ武将の頭数が足りないので、侵攻作戦にかなりの支障が生じる。やはり赤松氏も、天下統一を狙える器ではないかも知れない。実際、状況は相当につらい。

赤松 晴政

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

39	2	4	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(1513~?) 播磨、備前、美作の3ヶ国の守護を兼ねていたが、実際は浦上氏の傀儡にすぎなかった。尼子晴久に播磨国を攻められるし、領国經營も未熟だった。

赤松 政秀

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

27	5	1	10	5	0
----	---	---	----	---	---

(?~1570) 晴政を助け、1562年には浦上正宗を討った。その後も黒田職高や小寺政職と激戦を繰り広げるが、1570年に毒殺されてしまう。

後藤 勝基

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

32	4	4	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(生没年不明) 後藤又兵衛の一族か？ 基次は黒田孝高に仕え、九州征討や朝鮮の役で活躍した。その後、1615年の夏の陣に大坂方につき、奮戦の末に討死した。

備前国



ゲームスタート時の石高 4万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 5

この国の大石高 30万石

この国の中の最大価値 40

4万石では兵力の増強もままならず、国内平定だけでも数年を必要とするだろう。武将が少ないので、この国でも思いきった行動はとりづらい。かといって、ボヤボヤしていれば毛利家や尼子家が強化するだろうから、どこかで乾坤一擲の戦いをするしかない。それは、早ければ早いほどいい。

宇喜多 直家

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

22	8	13	0	15	0
----	---	----	---	----	---

(1529~1581) 浦上氏の臣下だったが、1570年に金光宗高を滅ぼしてから勢力を拡大。浦上宗景を追放して備前、美作の2ヶ国を領有し、秀吉の毛利攻めに協力した。

沼本 房家

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

19	7	1	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(?~1580) 浦上宗景の臣下だったが、のちに宇喜多直家に臣従した。1580年、備前国児島で毛利軍と戦い、備中国で討死したといわれている。

金光 宗高

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

38	4	5	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(生没年不明) 岡山城を居城として備後国に勢力を伸ばしたが、1570年に宇喜多直家によって滅ぼされた。直家は、宗高を倒したあとで、急速に勢力を増大させている。

中山 信正

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

39	3	6	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(?~1559) 備前國の地方豪族。浦上宗景に臣従して、1551年には宇喜多直家の舅になるのだが、1559年にその直家に謀殺されてしまう。

備中國



ゲームスタート時の石高 5万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 5

この国の大石高 25万石

この国の中の最大価値 35

山陰地方でもそうだったが、山陽地方でも武将不足が深刻だ。自国に守りの武将を配置すると、他国に攻め込む武将の数が足りなくなるのだから困る。山陰と山陽の大名が伸び悩むのは、この武将不足が最大の原因だ。三村家も、武将不足でイマイチ勢力を拡大できず、他国へやられそうだ。

三村 宗親

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

49	5	4	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(生没年不明) 毛利氏に属し、備中國に勢力を張った。息子の家親の時代には備前、美作国にも出兵して宇喜多直家と戦うが、美作国で在陣中に暗殺されてしまう。

庄 高資

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

30	3	5	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(生没年不明) 尼子家に従っていたらしいが、1561に三村家親と戦って敗れている。このち、三村氏が備中國の主権をにぎった。

石川 久孝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
----	----	----	----	----	----

31	3	4	0	10	0
----	---	---	---	----	---

(生没年不明) 備前國石川一族のひとりか？ 石川氏は吉備津神社の社務代の家柄で、その地位を基礎として備中國に勢力を伸ばした。

備後国



ゲームスタート時の石高 4万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 3

この国の最大石高 25万石

この国の町の最大価値 35

独立勢力のほうが兵の数が多いのだから、江田氏に国内平定などできるはずがない。しかも、隣国の安芸国には毛利家がいるのだ！ これはもう、負けることを運命づけられているとしか、言いようがない。この国でプレイしたときはジタバタせずに、潔く敗れるとしよう。きれいな負け方だ。

江田 豊前守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(生没年不明) 備後国の大名。毛利元就との戦いによって、滅ぼされている。備後国は小大名が多く、とび抜けた大名はいなかったようだ。
32	2	3	0	5	0	

祝 甲斐守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(生没年不明) 備後国の大名。毛利元就の中国地方統一の戦いで敗北し、滅ぼされている。江田氏、杉原氏と似た境遇だ。
36	4	2	8	5	0	

山内 隆通

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1530～1586) 備後の地方豪族である山内家の庶流、のちに本家を継いだ。尼子家の臣下であったが、1553年に毛利元就の配下になった。
22	6	4	0	15	0	

杉原 理興

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1557) 大内義隆の命令を受けて神辺城を占拠、のちに尼子家に臣従して出雲国・富田城へ逃亡していった。1555年には毛利家の旗下に入り、神辺城に戻っている。
33	4	8	0	15	0	

安芸国



ゲームスタート時の石高 23万石

ゲームスタート時の持ち城数 4

ゲームスタート時の威信 6

この国の最大石高 30万石

この国の町の最大価値 40

備後国や伊予国は国内平定ができないだろうから、まずは心配ない。攻撃目標は、ズバリ言って周防国と石見国だ。特に周防国の陶家は、勢力を増強するまえに叩かないと、あとでやっかいなことになるぞ！ 陶家を滅ぼしたら、次は大内家だ。この2家を滅ぼしたら、中国地方に敵はないぞ。

毛利 元就

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1497～1571) 安芸国の地方豪族でありながら、尼子晴久や大内義隆といった大大名を圧倒し、200余りの戦いに勝ち抜き中国地方の大半を領有した無双の知将。
54	14	14	0	10	1	

毛利 隆元

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1523～1563) 知勇とも2人の弟にかなわなかつたが、長男としての統治能力から家督を継ぐ。しかし、元就に先立つこと8年、尼子討伐戦中に急死してしまった。
28	8	8	0	10	1	

福原 貞俊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(生没年不明) 毛利家の重臣として、主に小早川隆景を補佐した。山陽、瀬戸内方面の軍事統率を担当していたことからも、信頼の厚さがうかがわれる。
31	9	7	15	5	0	

小早川 隆景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1533～1597) 山陽防衛のため、1554年に小早川氏の養子となる。水軍を率いて瀬戸内を戦い、兄の吉川元春とともに毛利家の繁栄に貢献した。
18	9	11	16	10	0	

吉川 元春

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1530～1586) 山陰防衛のため、1548年に吉川家の養子となる。尼子討伐戦など各地の戦いで戦功をあげ、弟の隆景とともに両川体制で毛利家を支えた。
21	13	7	16	10	0	

桂 元純

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(?～1569) 毛利家の庶流である、桂家のひとり。陶晴賢にニセの内応約束をして陶軍を敵島に集め、毛利軍の奇襲攻撃を大成功に導いた。
26	7	6	12	5	0	

周防国



ゲームスタート時の石高 15万石

ゲームスタート時の持ち城数 3

ゲームスタート時の威信 8

この国の最大石高 24万石

この国の町の最大価値 50

安芸国からの毛利家の攻撃を防ぐ、それが陶家の戦い方だ。防ぎつつ長門国を落として勢力を増強させ、毛利家と対決するのだ。毛利家は強敵であり、はやめに滅ぼさないと、こっちがやられてしまう。それは毛利家とて同じこと、早期決戦を仕掛けてくるだろう。それに勝てなければすべてが終わりだ。

陶 晴賢

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	(1521～1555) 大内家の臣下であったが、1551年に拳兵して大内義隆を自刃させる。1555年、2万の兵で毛利討伐に向かうが、敵島で毛利軍4千の奇襲にあい敗死した。
30	13	4	0	15	1	

青景 隆著

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
27	4	3	9	5	0

(?～1556) 大内家の家臣として、奉行職を務めた。陶晴賢の謀叛は、隆著がたきつけたことが原因だという説がある。毛利家との戦いで討死した。

陶 持長

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
54	3	4	5	5	0

(1497～?) 陶晴賢の謀叛では賛同してともに行動しているが、のちに毛利家へ臣従している。教養が豊かであったことで知られ、源氏物語の収集で有名である。

江良 房栄

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
37	9	5	5	10	0

(?～1555) 陶晴賢に仕え、知将として知られていた。対毛利政策の中心として活躍したが、元就の謀略に騙された晴賢によって誅殺された。

宮川 房長

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
29	4	9	9	10	0

(?～1554) 甲斐守の官位をもち、陶晴賢に従っていた。1554年、7千人の兵を率いて折敷畠山で毛利軍を戦うが、敗北し自刃して果てた。

弘中 隆兼

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
33	7	3	9	10	0

(?～1555) 1555年に陶晴賢の命令により、江良房栄を討殺した。巣島の戦いでは古城山麓に出陣して毛利軍と戦うが、奮戦もむなしく討死した。

長門国



ゲームスタート時の石高	11万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	10
この国の最大石高	16万石
この国の町の最大価値	40

城が2つしかないのは、守りのうえで極端に不利だ！ しかも、城レベルが低いときている。周防国の陶家の攻撃を、とても防ぎきることはできないだろう。この場合、攻めに転じるしか生き残る道はないぞ。陶家との決戦を狙うのだ。勝つ確率は低いが、それ以外に方法はないのだ。

大内 義隆

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
44	2	2	0	10	1

(1507～1551) 文化や芸術を好み、キリスト教の布教にも貢献した第1級の知識人。その性格が武断派重臣との関係にミソをつき、陶晴賢の謀叛をまねいた。

杉 興運

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
33	3	2	9	5	0

(?～1551) 大内家の重臣として、筑前国の守護代を務めた。陶晴賢の謀叛に際しては最後まで義隆と行動をともにして、自らも自害して果てている。

冷泉 隆豊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	4	1	9	5	0

(?～1551) 和歌が堪能であったことで知られる、大内家の忠臣。陶晴賢の謀叛の際も大内義隆を守って奮戦し、最後は義隆の自害を介錯して自らも果てた。

貫 隆仲

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
36	2	6	8	10	0

(生没年不明) 経歴は不明ながら、大内義隆の隆という字をもらっていることから、重用されていたということは想像できる。

四国地方

石高が低ければ、町の価値も低い。四国の大名は、ゲーム開始時からハンデを背負っているようなもんだ。四国の大名にとってはいまいましい地方だが、

ほかの大名にとっては、利点の多い地方といえる。なぜかというと、近畿や山陽、九州の各地方を一足飛びにつないでくれるからだ。



阿波国

ゲームスタート時の石高	11万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	8
この国の最大石高	28万石
この国の町の最大価値	40

国内を平定することは、たいして難いことではない。しかし、その後の他国への侵攻は、まずできないと思っていい。土佐国も讃岐国も、紀伊国も摂津国も、阿波国の兵力で制圧できる国ではないのだ。それどころか、いつ攻め込まれるかわからない状況にある。

勢力の伸びは、まったく期待できない。

細川 持隆

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
41	2	4	0	1	0

(?～1553) 1531年には和泉国に出身して細川高国と戦うなど、中央の権力闘争に深く関わったのが命取り、足利義栄を將軍にしようとした謀反で三好義賢に殺された。

久米 義広

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
44	3	1	9	1	0

(?～1554) 將軍擁立に失敗して殺された細川持隆の仇を討つため、1554年に三好義賢と戦って健闘するが、あえなく敗死した。この戦いを、鐘場の義戦という。

足利 義維

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
43	1	2	0	5	0

(1509～1573) 11代將軍、足利義澄の息子。將軍職につくことを熱望し、いろいろと策謀を巡らしたが、望みをかなえることはできなかった。

安宅 秀興

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
52	4	2	0	5	0

(生没年不明) 淡路島を根拠地とした、淡路水軍のひとり。淡路水軍の安宅氏は、熊野水軍を率いた安宅氏の分流である。

讃岐国



ゲームスタート時の石高 4万石

ゲームスタート時の持ち城数 1

ゲームスタート時の威信 7

この国の最大石高 15万石

この国の町の最大価値 30

讃岐国の特徴は、城数が少ないので多くの国とつながっていることである。

2つしか城がないのに、5カ国とつながっているのだ。これでは、国を守りづらくしてしまうがない。たとえ国内を平定したとしても、常に他国からの侵攻に気をつけていなければならない。

これでは、勢力の拡大は望めないのだ。

十河 景滋 香川 元景

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
48	5	4	0	15	0	(生没年不明) 十河一存のことだろうか？十河一存の養子である存保は、長宗我部元親と四国平定を争って敗れるが、豊臣秀吉から讃岐国・十河3万石を与えられた。
37	4	2	0	20	0	(生没年不明) 細川氏の旗下だったが、主に三好義賢に従っていた。1576年からは織田信長に仕え、信の字を与えられて信景と改名している。



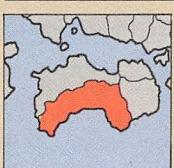
伊予国

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
43	4	3	0	15	0	(?~1572) 伊予国守護。家督相続を巡って一族間の争いが続き、和議の条件として通直は城から追い出された。家督を継いだのは、分家の河野通政である。
43	5	2	0	15	0	(生没年不明) 伊予国河野氏の一族。宗家と河野氏と対立し、予州家河野氏と称していた。河野家そのものは、豊臣秀吉によって滅ぼされた。
18	6	1	0	20	0	(生没年不明) 宇都宮氏のひとりかと思われる。宇都宮氏が勢力をもっていたのは、豊前国と下野国なのだが、豊綱はなぜ伊予国にいるのだろう。

伊予国もそうだが、最初の軍備フェイズで兵が募集できないような国は、まず天下統一などは望めない。しかも、3つしか城がないのに、5カ国とつながりあっている地の利の悪さ。これは、生き残るだけで精一杯だ。毛利家に滅ぼされないように注意して、なんとか長生きするとしよう。

河野 通直 河野 通存 宇都宮 豊綱

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
43	4	3	0	15	0	(?~1572) 伊予国守護。家督相続を巡って一族間の争いが続き、和議の条件として通直は城から追い出された。家督を継いだのは、分家の河野通政である。
43	5	2	0	15	0	(生没年不明) 伊予国河野氏の一族。宗家と河野氏と対立し、予州家河野氏と称していた。河野家そのものは、豊臣秀吉によって滅ぼされた。
18	6	1	0	20	0	(生没年不明) 宇都宮氏のひとりかと思われる。宇都宮氏が勢力をもっていたのは、豊前国と下野国なのだが、豊綱はなぜ伊予国にいるのだろう。



土佐国

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
47	6	7	0	10	0	(1504~1560) 積極的な領土拡大を実行し、本山氏や一条氏と争った。1560年、本山茂辰を敗走させて浦戸城を包囲したが、突如として撤退を行ない急死した。
40	8	1	0	10	0	(?~1569) 1563年、長宗我部元親が本山氏を攻めていた隙をついて岡豊城を攻めるが失敗、長宗我部家への臣従を拒んで戦うが敗北し、あえなく自刃した。
28	6	3	0	10	0	(生没年不明) 長宗我部国親の娘を正室としたが抗争は止まず、1560年の戦いで大敗して、長宗我部元親の代になってからは完全に没落している。
9	1	1	10	10	0	(1543~1585) 藤原氏の流れをくむ貴族。1574年、統治能力のなさから臣家の不満をかい、息子の内政に家督を譲らされて豊後国に流された。キリスト教信者である。

状況は厳しく国内平定も簡単ではないが、土佐国からは優秀な人材が輩出されるので、先行きは楽しみだ。長宗我部家ならば、四国地方制圧までは確実にできるだろう。問題はその後だ。その頃までに、強大勢力が山陽や九州地方に出現していなければ、それからの勢力拡大を望むことができる。

長宗我部 国親 安芸 国虎 本山 茂辰 一条 兼定

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	
47	6	7	0	10	0	(1504~1560) 積極的な領土拡大を実行し、本山氏や一条氏と争った。1560年、本山茂辰を敗走させて浦戸城を包囲したが、突如として撤退を行ない急死した。
40	8	1	0	10	0	(?~1569) 1563年、長宗我部元親が本山氏を攻めていた隙をついて岡豊城を攻めるが失敗、長宗我部家への臣従を拒んで戦うが敗北し、あえなく自刃した。
28	6	3	0	10	0	(生没年不明) 長宗我部国親の娘を正室としたが抗争は止まず、1560年の戦いで大敗して、長宗我部元親の代になってからは完全に没落している。
9	1	1	10	10	0	(1543~1585) 藤原氏の流れをくむ貴族。1574年、統治能力のなさから臣家の不満をかい、息子の内政に家督を譲らされて豊後国に流された。キリスト教信者である。



九州地方

南蛮貿易の船も来れば台風もやってくる、それが九州地方だ。この地方では史実通りに、龍造寺、大友、島津の3つか強い。この強さはほかの国の大名

と比較しても強い！町の価値は高いし、優秀な人材もゾクゾクと出てくるので、九州を平定した大名と戦う際は用心することだ。



豊前国



ゲームスタート時の石高	3万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	6
この国の最大石高	21万石
この国の町の最大価値	35

決して弱くはないのだが、隣接する国の大友家や陶家と比べると、どうしても見劣りがする。それに、やっぱり数多くの国とつながっているということは、国を守る上で致命的なことだ。たとえ国内を平定しようとも、各国から侵攻を受け、勢力を伸ばすことは、まずできないだろう。

宇都宮 長房

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
45	5	4	0	15	0

(1506～1588) 領国内のことよりも、下野国宇都宮家の家督問題に熱心だった。1588年、息子の鎮房とともに、黒田長政の手により暗殺されてしまう。

貫 隆資

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
24	3	1	0	15	0

(生没年不明) 貫隆仲と同様に、大内義隆の家臣だと思われる。大内氏は豊前国にも勢力を伸ばしていたので、隆資は前線司令官の役割りだったのだろう。

赤尾 賢種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
37	4	1	0	15	0

(生没年不明) 豊前国宇佐郡の地頭として大内家に仕え、1557年からは大友義鎮に臣従した。大友義鎮の命令により、何人かの地方豪族を討伐している。

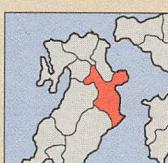
杉 重矩

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
57	5	6	0	15	0

(?～1551) 大内義隆の家臣として、豊後国の守護代を務めた。陶晴賢の謀叛にも最初は参加していたが、のちに対立し、争いに敗れて自害した。



豊後国



ゲームスタート時の石高	25万石
ゲームスタート時の持ち城数	6
ゲームスタート時の威信	9
この国の最大石高	45万石
この国の町の最大価値	65

島津家や龍造寺家とともに、九州3大強国のひとつである。史実どおりに、ほかの2強国を倒さない限り、九州地方の平定はありえないのだ。ドンドンと勢力を拡大し、はやめに決着をつけようにしよう。時間がかかると、島津家や龍造寺家のほかに、毛利家までも相手にしなければならなくなる。

大友 宗麟

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
21	8	11	0	10	2

(1530～1587) 北九州6ヵ国を平定したキリスト教王国の建設を夢みて、1578年に島津軍と戦うが敗北。それ以後、勢力は衰退していく。

田北 鑑生

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
45	8	9	12	5	0

(?～1561) 大友家の家臣として筑前国への侵攻を指揮し、1557年に秋月文種を討ち取って平定を果たした。大友家の一族のひとりである。

吉弘 鑑理

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
42	9	7	12	5	1

(?～1571) 大友家の家老として、宗麟の政務を補佐した。1569年、小早川隆景が率いる毛利水軍と博多で戦い、これを破って毛利家の九州侵攻を退けた。

大内 輝弘

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
31	6	6	12	5	0

(1520～1569) 大内義隆と対立し、大友家の客将となった。毛利軍との戦いで周防国に上陸戦をしかけたが失敗、敗走の途中で自害した。

立花 道雪

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	15	8	16	5	1

(1513～1585) 下半身不随ながら37回の合戦を指揮し、不敗を誇って鬼道雪と呼ばれた。衰退する大友家を最後まで支え、北進する島津氏の前に立ち塞がったのである。

志賀 親守

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
52	7	6	8	5	0

(生没年不明) 1578年、島津家との戦いに際して肥後国から動かず、この消極的な行動が大友家大敗の原因となつた。この件に関し、立花道雪に責任を追及されている。

佐伯 惟教

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
52	11	4	10	5	0

(?～1578) 大友宗麟の家督相続の際に活躍した。日向国に在国し、1578年の島津家との合戦(高城川の戦い)に従軍して乱戦の中で討死している。

田原 親宏

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
36	8	6	7	5	0

(?～1579) 大友氏一族のひとり。1558年から1570年にかけて、毛利軍と激闘を繰り広げた。1578年、大友軍が津島軍に敗れたのを契機に、宗家に反抗し始める。



筑前国



ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	4
この国の最大石高	54万石
この国の町の最大価値	75

国内平定までには数年を必要とするし、その頃には龍造寺家が勢力を伸ばしていることだろう。九州地方の大名は、他の地方に比べて弱いわけではないのだが、ほとんど数年で消滅することになってしまう。つまり、大友家や島津家、龍造寺家といった3強が強すぎ、併呑されてしまうからだ。

秋月 文種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
32	5	4	0	15	0

(?~1557) 九州屈指の名門ながらその勢力は小さく、常にどこかの圧迫を受けていた。毛利家に味方したことから大友家に攻撃され、激戦のうちに力尽きた。

立花 鑑載

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
42	6	2	0	10	1

(?~1568) 大友家の一族ながら背き、1565年に追放された。その後、許されて再び立花城城主になるがまたもや毛利家と内通、今度は攻められて敗死した。

高橋 鑑種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
21	6	3	0	10	1

(?~1579) 大友家の一族ながら、たびたび毛利家や秋月家と内応した。1578年の大友家の敗戦以降は、はっきりと離反、各地の大友家勢力を攻めた。

宗像 氏貞

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
19	3	5	0	10	0

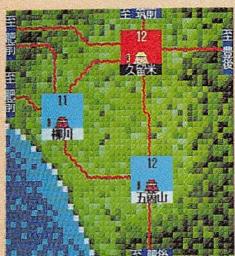
(?~1586) 大内家の臣民であり、宗像神社の大宮司でもある。1551年、父が大内義隆に殉死したため弟と家督を争い、陶晴賢の支援を受けて氏貞が跡目を継いだ。

原田 隆種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
38	4	1	0	10	0

(生没年不明) 原田信種の一族だろうか？ 信種は高祖城を居城とし、豊臣秀吉の九州征討に協力して、所領を安堵させている。

筑後国



ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	38万石
この国の町の最大価値	30

筑後国は九州地方には珍しく、武将の数が少ない国である。独立勢力を加えても、初期段階では3人しかいない。これでは、たとえ国内を平定したとしても、他国へ侵攻することはできない。九州地方は、優秀な武将が数多く存在し、それらが戦いあう激戦地なのだ。武将が少なくては、話にならないぞ。

少弐 時尚

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
25	2	2	0	15	0

(?~1559) 一族の内部抗争や他家の圧迫によって勢力は衰え、東肥前の豪族に支持されて筑後国を支配した時期もあったが、龍造寺に滅ぼされる。

筑紫 惟門

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
21	4	1	0	15	0

(生没年不明) 筑後国の地方豪族。息子の広門は豊臣秀吉の九州征伐の際に、1万8千石の大名に列せられたが、關ヶ原の戦いで西軍についたため没収されている。

蒲池 鑑盛

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
31	5	2	0	15	0

(生没年不明) 宇都宮氏の流れをくむ、筑後国の地方豪族。同族間の争いから筑後国に避難した龍造寺隆信を、かくまっていたことがある。

肥前国



ゲームスタート時の石高	6万石
ゲームスタート時の持ち城数	1
ゲームスタート時の威信	4
この国の最大石高	46万石
この国の町の最大価値	60

ちょっと見ると状況は不利のようだが、なんのなんの、1年で国内は平定してしまう。軍事値が10以上の武将は、それほど強いのだ。国内平定後は、筑前国と筑後国を制圧して、大友家との決戦に備えよう。九州制圧のカギは、早期決戦だ！ 敵が備えを完了する前に叩くことが、大切なのだ。

龍造寺 隆信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
22	13	7	0	20	2

(1529~1584) 1570年の今山合戦では5千の兵で6万の大友軍を破り、衰退した大友家に代わって北九州を制圧したが、島津義久との決戦に敗れて討死した。

松浦 隆信

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
27	4	3	0	10	1

(生没年不明) 肥前国の地方豪族で、平戸城を居城とした。龍造寺氏と抗争を繰り広げたのだが、1575年には起請文を出して従うようになっている。

大村 純忠

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
19	3	4	0	10	1

(1533~1587) 他家からの圧迫をボルトガル貿易で解消しようと自らもキリストianになるが、内部基盤の弱さは致命的で、生涯を反乱鎮圧に費やしている。

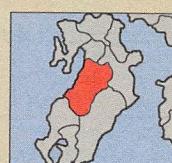
有馬 義貞 江上 武種

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
30	9	7	0	15	1
37	6	5	0	15	1

(1521～1576) 肥前国の戦国大名として龍造寺家と抗争を繰り広げたが、各地で敗戦して居城のみを維持した。有馬晴信は、義貞の2男である。



肥後国



ゲームスタート時の石高	8万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	4
この国の大石高	52万石
この国の中の最大価値	30

国内に8つの城があり、そのうち6つを独立勢力が保持している。これらをすべて落城させるには、どうしたって数年はかかるだろう。九州地方の戦いは、スピードが肝心だ。国内平定にもたつく国には、未来はありません。龍造寺家や島津家に併呑されるしかない。

相良 晴広

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
39	5	4	0	10	1

(1513～1555) 肥後の小大名。中国の明と貿易をしたり、相良氏法度21ヵ条という分国法を制定したりと、内政の充実に熱心だった。

上村 順孝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
33	2	5	5	10	0

(?～1567) 相良晴広の弟。晴広の跡を継いだ相良義陽に反抗するが、敗北して薩摩国に逃亡する。1567年、義陽に騙し討ちにあい殺された。

阿蘇 惟前

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
48	3	3	5	5	0

(生没年不明) 阿蘇の大宮司。策謀好きであちらこちらに手を出しが、うまくいったことがない。追放と復帰を繰り返しながら、生涯を送ったとされる。

名和 行興

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
26	4	1	5	5	0

(?～1562) 肥後の地方豪族。1550年、菊池義武と協力して出陣中に城を乗っ取られたことがあったが、のちに奪回している。

菊池 義武

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
46	6	5	0	10	1

(?～1554) 豊後国の大友氏の一族だが、大内家と結んで対立した。各地の地方豪族と協力して肥後国制圧に乗りだすが、大友軍に攻められて敗北、自害せられた。

赤星 親家

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
37	2	4	0	10	0

(1514～1562) 菊池義武との戦いで武功を立て、大友家から隈府城を与えられた。1560年、隈部親永の永野城を攻めるが失敗。敗死している。

隈部 親永

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
31	4	3	0	10	0

(?～1588) 1578年、龍造寺家と組んで赤星氏を攻め、隈府城を手に入れる。豊臣秀吉の九州征伐後に反乱を起こすが、佐々成政に鎮圧され処刑された。

阿蘇 惟将

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
27	4	7	0	10	0

(?～1583) 大友家や龍造寺家、島津家が勢力を伸ばすなか、巧みな外交戦術で領地を維持し続けた。大友家と龍造寺家と結び、島津家と和平交渉をしたのだ。

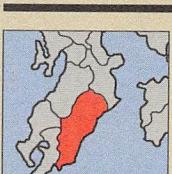
甲斐 宗運

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
36	13	6	0	10	0

(1515～1584) 阿蘇氏勢力の代表者。龍造寺家に人質をおくり、島津家と外交交渉を行なうなどの辛酸をなめながら、勢力の生き残りに努力した。



日向国



ゲームスタート時の石高	7万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	4
この国の大石高	18万石
この国の中の最大価値	20

国内平定は難しいことではないが、やっぱりその後が続かない。豊後国と大隈国と同盟関係にあるので、外敵の危機は序盤にはないが、いずれは島津家が攻めてくる。それまでに肥後国に食い込むことができればいいのだが、武将の能力の低さからいっても望みは薄い。やっぱり、負け役の国だな。

伊東 義祐

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
39	7	5	0	10	0

(1512～1585) 日向国の豪族である土持氏を討ち、島津家の侵攻を防いで勢力を伸ばすが、内部対立により弱体化。1577年、島津家の攻撃を受けて敗れた。

伊東 義俊

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
31	6	1	9	10	0

(生没年不明) 伊東氏一族のひとり。1570年の今川合戦の際、手勢を率いて龍造寺側に参陣して戦功をあげた。龍造寺軍5千のうち、200あまりが伊東軍である。

土持 親成

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲
37	8	6	0	10	0

(?～1578) 文武両道に優れた名将だったが、大友家と島津家の勢力争いに巻き込まれて苦難。1578年、大友家の攻撃を必死に防いだが、力尽きて敗死した。



大隅国



ゲームスタート時の石高	15万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	5
この国の最大石高	27万石
この国の町の最大価値	20

ゲーム開始時から小大名なので、一見有利そうだが、本当はかなり厳しい。なにせ、隣接するのが薩摩国だ。ここで戦って勝つ確率は、ゼロに近い。とてもじゃないが、勝負にならないのだ。潔くやられて、島津家に天下統一への道を譲ってやろう。それもまた、武士道というものだろう。

肝付 兼続

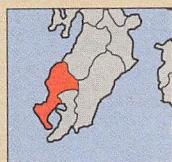
年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
40	5	6	0	10	1	(1511～1566) 妹を島津貴久に嫁がせて友好関係を結ぶが、のちに伊東氏と連合して島津家と争った。1566年、高山城を島津軍に落とされ自刃した。

肝付 兼盛

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
18	6	5	5	10	1	(1533～1578) 肝付氏一族のひとり。1555年から島津貴久に従い、伊東氏攻めなどで戦功をあげた。貴久と義久の2代にわたって、島津家の家老を務めている。



薩摩国



ゲームスタート時の石高	7万石
ゲームスタート時の持ち城数	2
ゲームスタート時の威信	7
この国の最大石高	35万石
この国の町の最大価値	30

伊集院忠朗が多少手強いが、1年間で国内を平定できるはずだ。平定後は大隈国を併呑し、日向国や肥後国へと侵攻して行くとしよう。日本の最南端で背中に敵を受けないので、前へ前へと前進すればすむ。龍造寺家や大友家を打ち破り、はやめに九州地方を制圧すれば、天下統一も夢ではない。

島津 貴久

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
37	6	10	0	10	2	(1514～1571) 一族の統一や琉球王との外交、鉄砲の実戦配備といった富国強兵政策を断行し、九州の覇者となる基盤作りをした。島津義久は貴久の長男である。

島津 忠将

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
32	11	4	16	10	1	(1520～1561) 薩摩国大隈の豪族、蒲生氏攻めで大功をあげた。1561年、肝付氏に対する大隈廻城攻めに参陣中、激戦の中で戦死している。

伊集院 忠倉

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
33	9	8	0	10	1	(生没年不明) 島津氏一族のひとり。1549年、肝付兼家を暴風雨の中で奇襲、捕虜にし降伏させている。1558年から、島津家の老中となった。

伊集院 忠朝

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
56	11	3	0	10	2	(生没年不明) 貴久の叔父、忠良の重臣として薩摩国平定に活躍、伊東氏や肝付氏を攻めるときも参陣している。1539年から、島津家の老中となった。

島津 実久

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
43	7	2	0	10	2	(生没年不明) 島津本家の家督争いで敗れて以後、ことごく本家(貴久)と対立した。1539年に大敗をきつてから、出水地方に隠退したという。

菱刈 隆秋

年齢	軍事	内政	忠誠	兵士	鉄砲	備考
35	7	3	0	10	2	(生没年不明) 1569年5月、平泉で島津軍を破るが、攻撃の勢いは衰えない。同年8月、和議を結んで降伏し、この菱刈氏の敗北で薩摩国は島津家のものになった。

朝廷からの官位授与

朝廷からの特使で与えられる位を、格の低いほうから並べると……。

- ①各国の守護、必要な威信は1～9。
- ②鎮守府將軍、必要な威信は10。
- ③右大将、必要な威信は11。
- ④左大将、必要な威信は12。
- ⑤參議、必要な威信は13。
- ⑥中納言、必要な威信は14。
- ⑦大納言、必要な威信は15。
- ⑧内大臣、必要な威信は16。
- ⑨右大臣、必要な威信は17。

⑩左大臣、必要な威信は18。

⑪内大臣、必要な威信は19。

任官をうけると、威信は1上昇する。威信の上昇はそのほかに、同盟の締結や開墾などでもときどきある。反対に威信が下がるのは、同盟を破棄して攻め込んだ場合だ。威信が3つ下がって、家臣の忠誠心も1から3の間で下がる。

威信値が高いと、勝利条件を

満たすのに必要な総石高が低くてすむ。武力で天下統一をしたあとは、平和に威信で天下を従わせる勝ち方をやってみよう。威信19の関白ならば、総石高1300万石で天下統一だ。



威信で平和的に平定するのもいいぞ。

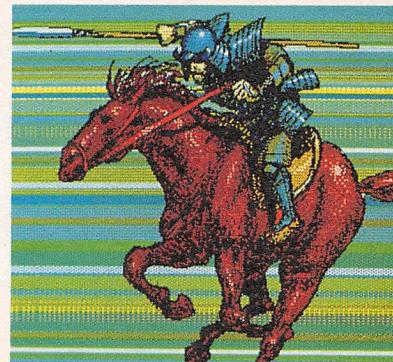
上巻、エピローグ。下巻への展望

ひじょーに残念なことだが、今回はここまでだ。跡継ぎの武将および追加武将のデータは、申しわけないが下巻を待ってほしいのだ。2週間、2週間だけの辛抱をしてくれ。

さて、今回はすべての武将に対して経歴を書いてみたけど、これが凄く大変だったのだ。それこそ、事典や歴史書と首尾引きてやつ。全員を調べるのに、1週間もかかっちゃったよ！

しかし、それだけ苦労して調べても、

経歴が定かでない武将がなん人かいたのだ。それらの武将には、とりあえずわかっている範囲のことを書いておいた。だから、もしかしたら間違ったことが書いてある可能性もあるんだ。キミたちの住んでいる地域の武将で、これは本当の経歴と違う、というのがあったら、手紙で知らせてちょーだい。本誌“覇者への道”で、ドンドンと訂正を行なっていきます。日本中の歴史好きなみなさん、どうぞよろしく！



南蛮貿易による影響

歴史というものは、数多くの偶然によって作られている。1543年にポルトガル船が種子島に漂着しなければ、織田信長の天下布武はありえなかったかもしれない。漂着した船によって鉄砲が持ちこまれる、といった偶然がなかつたら、長篠の戦いの勝利はなかったのかかもしれないのだ。

漂着をきっかけに始まったポルトガルとの貿易は、数多くのものを日本にもたらした。カルタやテンプラ、タバコなどは、ポルトガルから伝えられたものである。しかし、やっぱり一番影

響を与えたものは鉄砲だった。鉄砲が全国に広まるにつれ、騎馬隊中心の戦法は足軽中心になり、築城法も変化していくのだ。城の壁にある丸や四角の穴などは、そこから鉄砲を撃つためのものである。

ポルトガルなどの西洋との貿易は、物品だけでなく人物をも伝えた。日本にキリスト教を広めたフランシスコ・ザビエルは、1549年に日本に来航している。ザビエルの布教活動は、九州の大名に大きな影響を与えた。なかでも

豊後国の大友宗麟には、歴史を変えるほどの影響を与えた。島津家と高城川で戦って大敗したのは、キリスト教徒の宗麟に兵士が不安を感じたからといわれている。もし、宗麟がキリスト教徒でなかったら。これも歴史の偶然だ。

◆序盤の兵数が少ないときは、
鉄砲でも威力があるのだ。
1や2

戦国大名の富国強兵策

戦国大名は戦いに勝ちぬき、領国を安定させなければならなかった。それだけが、生き残る方法だったのである。そのため、戦国大名はそれぞれに富国強兵の方策を講じている。

多くの戦国大名がとった政策に、商工業者の編成がある。領国内に分散している商工業者を編成し、それを総合して経済発展に努めたわけだ。織田信長の楽市・樂座も、こういった経済発展政策のひとつである。経済政策としてはほかに、信玄堤といわれた武田信玄の治水工事、上杉謙信の佐渡の金山

開発や、北条氏康の税制改革などがある。また、居城を中心とした城下町の形成も、まとった経済圏を確保するための政策だったのである。有名な城下町としては、北条氏の小田原、今川氏の府中がある。

経済が発展しても、支配体制が確立していないと統率はとれない。戦国大名は、分国法と呼ばれる法律をつくって、領国支配に努力したのである。分国法で有名なのは、武田氏の甲州法度、今川氏の今川仮名目録、六角氏の六角

北条勢		武田勢		合戦	
武田	20万石	武田	24万石	武田	合戦
小田原	16万石	小田原	16万石	小田原	合戦
今川	10万石	今川	10万石	今川	合戦
六角	8万石	六角	8万石	六角	合戦
上杉	7万石	上杉	7万石	上杉	合戦
朝倉	6万石	朝倉	6万石	朝倉	合戦
柴田	5万石	柴田	5万石	柴田	合戦
今井	4万石	今井	4万石	今井	合戦
高橋	3万石	高橋	3万石	高橋	合戦
大内	2万石	大内	2万石	大内	合戦
赤坂	1万石	赤坂	1万石	赤坂	合戦
日向守	1万石	日向守	1万石	日向守	合戦
伊豆守	1万石	伊豆守	1万石	伊豆守	合戦
三河守	1万石	三河守	1万石	三河守	合戦
近江守	1万石	近江守	1万石	近江守	合戦
越後守	1万石	越後守	1万石	越後守	合戦
信濃守	1万石	信濃守	1万石	信濃守	合戦
甲斐守	1万石	甲斐守	1万石	甲斐守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
三重守	1万石	三重守	1万石	三重守	合戦
伊豆守	1万石	伊豆守	1万石	伊豆守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦
佐竹守	1万石	佐竹守	1万石	佐竹守	合戦
伊豫守	1万石	伊豫守	1万石	伊豫守	合戦
安芸守	1万石	安芸守	1万石	安芸守	合戦
備後守	1万石	備後守	1万石	備後守	合戦
毛利守	1万石	毛利守	1万石	毛利守	合戦
丹波守	1万石	丹波守	1万石	丹波守	合戦
淡路守	1万石	淡路守	1万石	淡路守	合戦
和泉守	1万石	和泉守	1万石	和泉守	合戦
紀伊守	1万石	紀伊守	1万石	紀伊守	合戦
熊野守	1万石	熊野守	1万石	熊野守	合戦
伊勢守	1万石	伊勢守	1万石	伊勢守	合戦
遠江守	1万石	遠江守	1万石	遠江守	合戦
静岡守	1万石	静岡守	1万石	静岡守	合戦
駿河守	1万石	駿河守	1万石	駿河守	合戦
三浦守	1万石	三浦守	1万石	三浦守	合戦
相模守	1万石	相模守	1万石	相模守	合戦
武藏守	1万石	武藏守	1万石	武藏守	合戦
山形守	1万石	山形守	1万石	山形守	合戦
秋田守	1万石	秋田守	1万石	秋田守	合戦
陸奥守	1万石	陸奥守	1万石	陸奥守	合戦
岩手守	1万石	岩手守	1万石	岩手守	合戦
喜多方守	1万石	喜多方守	1万石	喜多方守	合戦
福島守	1万石	福島守	1万石	福島守	合戦
伊達守	1万石	伊達守	1万石	伊達守	合戦

天下統一

四海統一は將にあり 上巻

